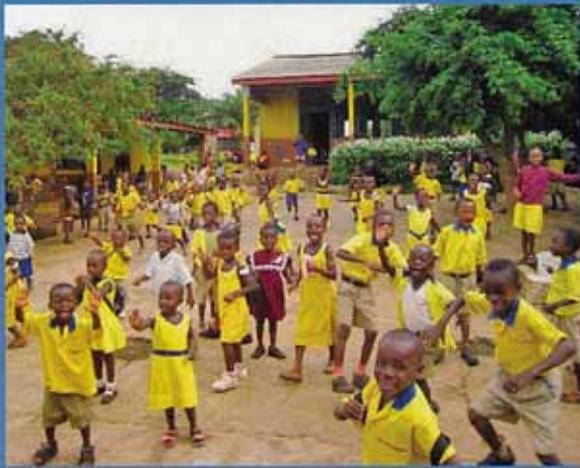


独立行政法人 国際協力機構

中国国際センター (JICA中国)

平成19年度 活動レポート



平成20年

jica
ジャイカ

JICA中国活動レポート

目次

はじめに	1
第1部 各事業の活動報告	
1. 研修員受入事業.....	2
2. 青年研修事業.....	4
3. 海外ボランティア事業.....	6
4. 草の根技術協力事業.....	8
5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業.....	10
6. 大学との連携協力.....	14
第2部 実績・参考資料	
1. 平成19年度事業実績.....	15
2. 参考資料.....	49

はじめに

この冊子は、独立行政法人 国際協力機構 中国国際センター（JICA中国）の平成19年度の事業概要をまとめたものです。

JICA中国は、中国地方の自治体、大学、民間企業等、様々な団体の協力を得、各団体の特性を活かしながら開発途上国の人材を育てる研修コースを中国5県で実施しています。平成19年度は、アジアやアフリカなど様々な国から、263名もの行政官や技術者等が、これらの研修コースに参加し、将来、自国の発展に寄与することが期待されています。

開発途上国の住民と一体となって協力活動を展開する海外ボランティア事業については、昨年度1年間で中国地方から103名を派遣し、市民のみなさまの国際協力にける意気込みを感じました。

JICA中国は、また、地域のNGOや自治体等との連携事業も積極的に進め、草の根技術協力事業を通じて、これらの団体の協力事業をサポートしています。平成19年度は、9団体が、アジア、アフリカ、大洋州、中米で、JICAとの協力のもと、技術協力を実施し、開発途上の地域や国々の発展への貢献をめざしています。

中国5県の市民を対象とした支援活動も、JICA中国の主要な事業の一つです。開発途上国の実情を知り、国際協力の必要性を理解していただくため、JICAボランティア経験者や職員などを講師として小学校、中学校や市民のみなさまのもとに派遣する国際協力出前講座は、昨年度1年間で204件実施し、19,381名にのぼる市民の方々のご参加をいただきました。

他にも、中国5県の教師の方々やマスコミ関係者を開発途上国に派遣し、その現状を子どもたちや市民の方々に、授業や新聞等を通じてお伝えいただく事業にも力を入れています。

今年は、5月に「第4回アフリカ開発会議（TICAD IV）」が横浜で開催されたのに続き、7月には「北海道洞爺湖サミット」が開かれます。これらの会議では、アフリカ地域への支援強化、地球温暖化対策など、国と国とのボーダレス化が進む現代において早急な対策が必要なさまざま課題が注目を浴びています。本年10月に、JICAは、これまで実施してきた技術協力事業に加え、無償資金協力事業の一部と円借款事業の実施を担う援助機関に生まれ変わります。JICA中国は、これからも、中国地方のみなさまと力を合わせて、効果的・効率的な国際協力事業を実施するように努力する所存です。今後とも地域のみなさまのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

平成20年6月

独立行政法人 国際協力機構
中国国際センター
所長 生井年緒

第1部 各事業の活動報告

1. 研修員受入事業

JICA中国は、開発途上国のそれぞれの専門分野で実務に携わっている技術者、研究者、行政官などを受け入れて、研修の機会を提供しています。

平成19年度は、アフリカの教育分野を始め、新たにアジア向け教育分野の地域別研修コースとして、アジア地域「ノンフォーマル教育拡充」を実施しました。同コースは広島大学などと連携して実施しましたが、このように、教育に力を入れている広島のリソースを生かした研修を、JICA中国では積極的に行っています。また、イラクやトルコを対象にした電力関係の2コースを新たに立ち上げるなど、環境に配慮し、効率的なエネルギー利用を促進する研修にも取り組んでいます。



「東広島市・西条酒まつり」(10月)
子供たちとゲームに興じるJICA研修員

4月	平成18年度「沿岸漁業の統合的な管理手法」コース継続実施	10月	カンボジア「地方行政」、イラク「配電網改善」、南アフリカ共和国「理数科教員養成者研修」コース開始 研修員、東広島市の「酒まつり」に参加
5月	「廃棄物管理総合技術」、「ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電」コース開始	11月	フィリピン「女性起業家育成支援」、トルコ「発電所エネルギー効率改善」コース開始
6月	南東欧「地域産業振興政策」、仏語圏アフリカ「教育行政」、中東地域「上水道維持管理」コース開始	12月	中南米地域「治安対策強化セミナー」コース開始
7月	「乾燥地水資源の開発と環境評価」コース開始	1月	「食品加工・保全技術」、南部アフリカ地域「中小企業育成」、サブサハラ・アフリカ地域「平和構築としてのガバナンス能力強化」コース開始
8月	「中等科学教育実技」、インドネシア「国際収支・国際経済マネジメント能力強化」コース開始	2月	ケニア「INSET運営管理」、イラク「火力発電」、アジア地域「ノンフォーマル教育拡充」コース開始
9月	「持続可能な地域観光振興」、「養殖魚の健康と安全管理」、中南米地域「生活排水処理」、南西アジア地域「公害防止行政」コース開始	3月	「地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成」コース開始

サブサハラ・アフリカ地域別研修 「平和構築としてのガバナンス能力強化」 コース

JICA中国では、サハラ以南アフリカの紛争経験国の地方行政官らを対象にした平和構築研修を平成18年度から実施しており、今回で2年目となります。今回は、リベリア、ルワンダ、シエラレオネ、ウガンダから計12名が参加しました。

自国で紛争後の復興や開発に携わる4カ国の研修員は、平成20年1月25日から2月15日まで、広島県の戦後復興プロセスや地域開発事例などを通じ、自国の地方行政の現状と課題を整理し、有効な復興・開発計画を策定・遂行するための方策について学びました。

この研修では、コースリーダーの篠田英朗・広島大学平和科学研究センター准教授の指導の下、コースの最初に広島の復興経験などをテーマにディスカッション、地方行政官としての平和構築の「感覚」を養いました。ディスカッションでは、最初に篠田准教授が作成したオリジナル教材で広島の戦後の歩みを振り返った後、広島の事例を教訓に、「平和構築には、どんな姿勢や信念が必要か」や「広島の経験を各国でどう生かすことができるか」などについて活発に話し合いました。

また、「平和構築の第一歩は地域の安全から」という認識のもと、広島市内の住民組織の取り組み事例を視察しました。訪れたのは、広島都市圏のベッドタウンとして、市内最大の人口を抱える安佐南区。人口の増加に伴う自転車盗難など軽犯罪の増加に悩む同区では、平成15年に広島県の「減らそう犯罪」のモデル地区に指定されたのをきっかけに、区民の有志が主体となって様々な防犯運動を展開、その結果、犯罪件数の大幅減少という成果を挙げました。

12名の研修員は、住民ボランティアによる学区児童の下校同行サービスや保育園の園児向け防犯教育などを見学、「日本の治安の良さは、住民の地味な取り組みが原点」と強く感銘を受けているようでした。

実質的な研修期間は、わずか20日あまりでしたが、各研修員は帰国前に、研修の成果をアクションプランという形でまとめて発表しました。このプランには「広島の復興経験から学ぶもの」という項目を必ず盛り込むようにしましたが、研修員からは「子どもたちに平和の大切さを伝えるよう平和教育を広めたい」、「コミュニティーの生活環境を守る啓蒙活動をすぐにも始めたい」などの意見が多数出されました。

本研修コースは、平成20年度まで3ヵ年続きますが、JICA中国では「広島の復興経験」をできるだけ多くの紛争経験国に伝え、平和構築の意義を理解してもらおうと、今後アフリカ諸国はもちろん、他地域にも同様のコースを拡大、広島ならではの研修を実施していきたいと考えております。



広島市安佐南区の住民代表から
防犯対策の説明を聞く研修員



JICA国際協力専門員から
PCM手法について学ぶ研修員

2. 青年研修事業

青年研修とは、開発途上国の若者を日本に招き、将来の国づくりを担う人材を育てる事業です。開発途上国の若者は18日間日本に滞在し、各専門分野の知識・技術を向上させる研修を受けます。また、本研修は、日本各地の市民や地方自治体が、地域の特色を活かして国際協力に参加する機会ともなっており、開発途上国の若者が帰国した後も、日本の関係者や市民との協力関係が続いたり、日本の関係者が途上国を訪問するなど、草の根レベルの国際協力にもつながる事業です。



「ベトナム・地方行政」(11月)
老人ホームで歌を披露するベトナムの青年たち

4月



5月

6月

7月

8月

9月

10月



11月

「パキスタン・教育(基礎教育教員養成1)」
受入団体：世界青年徳山友の会

「中華人民共和国・環境行政」
受入団体：とっとり青友会

「マレーシア・情報技術(IT)」
受入団体：島根県地域国際協力連合会

「ベトナム・地方行政」
受入団体：津山と世界を結ぶ会

12月

1月

2月

3月



中国青年を受け入れて

とっとり青友会 会長 更田 匡史

1 事前の準備とプログラム作成

中国青年の受入の決定をいただき、とっとり青友会としては大いに喜んだ。私たちは長年、中国青年の受入や、スタディツアーを組んで訪問するなどの交流を続けている。しかし、今回の分野「環境行政」が私たちににとっては初めての分野であることと、今年度より今まで交流を中心に行っていた事業が、青年研修と名称を変え、都内プログラムと地方プログラムに分かれていたものが一貫型になる、受入期間が13日間なるなど、プログラムの位置づけが大きく変化したことがあり、不安を感じながらの受入準備のスタートとなった。

幸いにも鳥取県は、環境立県を目指す取り組みがたくさん行われており、プログラムのネタには困らなかった。県の環境衛生研究所、鳥取砂丘、乾燥地研究センター、ごみ処理施設、本当にたくさんの研修先がある。しかし、ただ闇雲にこれらを組み立てても、バイキングで料理を腹いっぱい食べるのと変わらない。満腹感はあるが満足感は少ない。目的を絞り、来日する青年のニーズに応える内容でなければと考え、何度も準備会を行った。私たちにとっては、この準備会が重要な研修場所であり、機会でもあった。それぞれがテーマを持ち、事前に調べたことをプレゼンしながら、知識と意欲を共有しあう準備会であった。

2 研修のはじめに

青年たちの中国での仕事内容や立場は個々異なっており、今回の研修への思いも、目的も様々であった。そのようなグループに同じ研修機会を持ってきても、満足の得られる研修とはならないと考え、研修初日に青年一人一人から目的や要望等を聞く機会をつくった。そこで出された意見をもとに、青年を3つのグループに分け、模造紙にまとめて発表した。研修の方法や目的を共有しながら、青年たちも自分の思いだけでなく、他の人の考えにも寄り添うことができた。このグループ分けは、翌日から始まる研修を内容の濃いものへと発展させた。

3 研修のひとこま

研修では、県の取組み、自治体の取組み、企業の取組み、各家庭や個人の取組みなどに分けて行った。青年たちが特に興味を示し、真剣な表情で話を聞いた場面は、ジャスコ鳥取北店での研修であった。食品トレーや牛乳パックの回収、エコバックの使用などの説明に対して質問が多く、担当者の真剣な対応に青年たちは満足していた。

説明の後には、買い物や食事の時間もあり、研修と自由時間を組み合わせた楽しい時間を過ごすことができた。

リサイクルショップの見学をした際には、新品と思えるような電化製品の山の中から気に入った商品を手に取り、係の人に質問したり、商品を購入したりしていた。



ジャスコ視察

4 ホームステイを体験して

今回の研修の目玉の一つに、ホームステイがある。研修事業であるが、「環境」という視点で日本の家庭を体験することに意義があった。家庭のゴミの問題を一緒に考えたり、地域の活動へ参加したり、青年たちにとっても貴重な体験となった。歓送会ではホストファミリーと思い出を語り、これからの交流を約束する場面もあった。短い期間ではあったが、大きなつながりができた。この研修が今後の交流の始まりとなることを確信した歓送会であった。

最後になりましたが、多くの方々を支えられ、実り多い研修になったことに感謝申し上げます。



交流を深めた家族と一緒に歓送会

3. 海外ボランティア事業

JICA中国では、開発途上国の住民と一体となって行う協力活動を志望する個人を募集し、海外に派遣しています。海外ボランティアは大きく分けて、青年（20～39歳）を対象とした青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアと、シニア（40～69歳）を対象としたシニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティアがあります。中でも、青年海外協力隊事業は、平成19年で事業開始後42周年を迎えました。JICA中国は、毎年春と秋の2回の募集期に合わせて実施される一般募集説明会の他、帰国隊員の報告会、大学や各種セミナー・イベント等でのボランティア事業の紹介など、ボランティア事業の理解促進のための様々な活動を行っています。



「花と緑の地球展」(4月)
地球パズルを眺める少女

4月	4/10～5/25 平成19年度春募集、一般募集説明会実施 (12都市、23回) 4/28～5/2 企画展「花と緑の地球～ずっとこの星で暮らしたい～」(旧日銀広島支店)	10月	10/1～11/19 平成19年度秋募集、一般募集説明会実施 (12都市、23回) 10/7 倉敷国際ふれあい広場ブース出展 (岡山県OV会) 10/27～28 ひろしまフードフェスティバル出展(広島県OB会)
5月	【特別説明会】 東亜大学(5/25) 島根大学(5/30)	11月	【特別説明会】 徳山大学(10/10)
6月	6/11～15 平成19年度1次隊出発前表敬	12月	11/2～6 地球市民フェスタ in おかやまブース出展(岡山県OV会) 11/14 国際交流・協力の日ブース出展、帰国報告会(広島県OB会)
7月	7/22 帰国報告会(山口県OB会) 【特別説明会】 広島国際学院大学自動車短期大学部 (7/23)	1月	【特別説明会】 鳥取県立米子高等技術専門学校(11/6) 鳥取県立農業大学校(11/21)
8月	8/18 教育セミナー中国2008 in 三次 ブース出展 8/18 国際子どもフォーラム勉強会 (岡山県OV会) 8/20 広島県現職参加教員帰国報告会 8/25 地球のステージ島根公演 (島根県OB会) 8/25 鳥取県国際理解教育研修会	2月	12/17～21 平成19年度3次隊出発前表敬
9月	9/18～21 平成19年度2次隊出発前表敬	3月	1/19 岡山県ボランティア家族連絡会 1/26 鳥取県ボランティア家族連絡会、 帰国報告会(鳥取県OV会) 1/27 教育セミナー中国2008 in 廿日市ブース出展 【特別説明会】 川崎医療福祉大学(1/16) 広島大学(1/22)
			2/16 広島県ボランティア家族連絡会 2/27 広島県現職教員特別参加制度事前研修
			3/17～21 平成19年度4次隊出発前表敬 3/20 山口県ボランティア家族連絡会

世界で活躍したボランティアからの メッセージです！



石田 雄大

派遣国：グアテマラ
派遣期間：平成17年12月～平成19年12月
職種：養鶏
出身：広島県

唐突ですが、皆様はグアテマラと聞いて何を思い浮かべますか？ コーヒー豆？ 美しい民族衣装？ マヤ文明の遺跡？ 魅力は色々あるとは思いますが、多くの人はあまりピンとこないのではないでしょうか？

私が青年海外協力隊として派遣されたグアテマラは、中米に位置し、人口1200万、その多くをマヤ系先住民が占めています。世界遺産が多く、毎年多くの観光客が訪れています。グアテマラは、歴史と民族、地勢の多様性に富んだ興味深い国です。しかし1996年まで、この多様性が故に36年間にも及ぶ内戦に苦しんでいました。

このように、未だ内戦の傷が色濃く残るグアテマラではありますが、そこに住む人々は皆底抜けに明るく、とても魅力的な人達ばかりです。グアテマラの一番の魅力は？と聞かれたならば、私は迷うことなくそこに住む人々だと答えます。私の活動場所は、メキシコ国境近くの小さな市でした。任地での初日、シャワーを浴びたいと言った私を家族が連れていったのは、家の裏を流れる小さな川でした。以後2年間、私の風呂は川となりました。

そんな生活の違いに戸惑う私を、グアテマラの人達は常に笑顔で支えてくれました。ある日、酒場で酔った客に私はひどい暴言をはかれました。その時、その客に対し猛然と抗議してくれたのは、グアテマラの友人達でした。礼を言う私に対して彼らは、「日本でもし私達がさっきのような暴言を吐かれたら、あなたもきっと同じように抗議してくれたらどう？」と言いました。その時に私は、「グアテマラに来てよかった」と心から感じました。そして、人との繋がりの大切さを感じました。

郷に入っては郷に従え、その土地にはそこにあった風習、文化があります。それを尊重せず、むやみに変えてしまふ事は決してあってはなりません。ただ、どこに行っても変わらないものは、人の心の温かさだと思いました。

またいつか、彼らと一緒に酒を酌み交わし、笑いあえる日が来る事を祈って。

千々松 幸子

派遣国：エルサルバドル
派遣期間：平成17年4月～平成19年4月
職種：看護師
出身：山口県



私が青年海外協力隊に参加しようと思ったきっかけは、「看護師としての自分の可能性をもっと広げてみたい」と思ったことでした。募集説明会などに参加し、実際に協力隊経験者の方から「特別な人が参加するものではないので、勇気を持ってチャレンジしてみたら」というアドバイスを頂き、参加を決めました。

派遣された国は中米・エルサルバドル。日本とは言葉も文化も気候も、歴史も習慣も大きく異なる国での生活に、最初は戸惑うことばかりでした。派遣先の国立病院では、病棟スタッフとして勤務すると同時に、病棟婦長たちと看護技術・知識の向上のための活動をするのが、私の主な活動内容でした。物が無い、人手が足りないという開発途上国では切っても切れない問題以上に、現地の看護師たちの看護や、仕事そのものに対する考え方の違いに、大きく悩まされました。思いが伝わらず、何度となくスタッフと衝突したり、方向性を見失い、落ち込んだり、悔しい思いをする日々が続きました。

「日本の看護を押し付けるのではなく、現地の人々と協力しながら、同じ問題意識を持って看護の向上に努めなければ、本当の向上に繋がらない」と気付いた時は、派遣1年が過ぎた頃でした。その国の看護を受け入れ、尊敬の気持ちを持って活動することを大切に、活動後半では看護技術の勉強会、マニュアル作成などを協力して行うことが出来ました。2年間の活動が終わり、同僚の看護師から「あなたが来てくれてよかった。こんな小さな国に、遠い日本から来てくれて、ほんとうにありがとう」と言われたときは、協力隊に参加して本当によかったと思いました。

現在は県内の病院で病棟看護師として勤務していますが、引き続き国際看護に対する学びを深めていくとともに、医療通訳などにも挑戦したいと思っています。現地での活動は決して楽しいことばかりではありません。むしる辛かったことや苦勞することのほうが多いと思います。しかし、文化や言葉を乗り越えて、現地の人々とともに活動し、様々なことをやりとげていく2年間は、とても貴重な経験になると思います。もっと多くの方々に協力隊の活動を知っていただき、参加して欲しいと思っています。

JICA中国のHPにも現在活動中のボランティアからの便りをたくさん掲載しています。

こちらをご覧ください <http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/volunteer/taiken/index.html>

4. 草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、国際協力の意思をもっている日本のNGO、大学、地方自治体及び公益法人などの団体からの提案を受け、開発途上国への国際協力活動について、JICAが共同事業として実施するものです。協力期間は、3年以内（但し、地域提案型は3年度内）です。団体の規模や種類に応じ、次の3種類の事業形態があります。

草の根協力支援型（支援型）

国内での活動実績はあるものの、開発途上国への支援実績が少ないNGOなどの小規模な団体向けです。

草の根パートナー型（パートナー型）

開発途上国への一定の支援実績を有しているNGOなどの団体が、これまでの活動を通じて蓄積した経験や技術に基づいて提案・実施するものです。

地域提案型（提案型）

地方自治体からの事業提案により、日本の地域社会が持つノウハウ・経験を活かし、現地での技術指導や開発途上国からの人材の受け入れを通して、途上国の人々や地域の発展に役立つ協力活動を支援するものです。



保健ボランティアの研修：血圧測定
（ホンジュラス・エルパライス県
母子保健向上支援事業）

4月

草の根協力支援型案件随時募集

以下、継続案件の実施契約締結

- 「中華人民共和国・岡山 - 上海高齢者介護教員養成センター」(パートナー型)
- 「ザンビア・ルサカ市非計画居住地区結核対策プロジェクト」(パートナー型)
- 「カンボジア・小学校体育科指導書作成支援プロジェクト」(パートナー型)
- 「パラオ共和国・パラオ共和国での学校検診実施のための技術協力」(支援型)
- 「インドネシア・エンレカン県酪農研修センター運営支援プロジェクト」(支援型)

8月

地域提案型募集開始

- 「ホンジュラス・エルパライス県母子保健向上支援事業」(パートナー型)
- 新規の実施契約締結
- 「中華人民共和国・寧夏回族自治区における汚泥総合利用技術の確立」(提案型)
- 新規の実施契約締結

9月

地域提案型募集締切

10月

草の根パートナー型第1回採択内定案件決定

5月

11月

草の根パートナー型第2回募集締切

「中華人民共和国・日中療育技術交流事業」(提案型) 継続の実施契約締結

6月

草の根パートナー型第1回募集締切

- 「カンボジア・カンボジア元気な学校プロジェクト」(提案型) 継続の実施契約締結
- 「中華人民共和国・威海市個別研修環境保全パートナーシップコース」(提案型) 継続の実施契約締結

12月

地域提案型採択内定案件決定

地域提案型第2次募集

7月

1月

2月

草の根パートナー型第2回採択内定案件決定

3月



地域提案型

「威海市個別研修環境保全パートナーシップコース」

宇部市 環境共生課 大村 浩誌



宇部市と友好都市である中国威海市では、急速な都市化、工業の発展に伴い、大気汚染や水質汚濁等の環境汚染問題に直面しています。そこで、かつて産・官・学・民のパートナーシップにより公害問題を克服した経験を持つ、宇部市の環境保全システム「宇部方式」や、市内企業が持つ技術を、威海市の環境保全に携わる行政官、企業の代表者、学識者などに伝え、「宇部方式」を定着させることを目的として、宇部環境国際協力協会と共同で、上記事業を実施しました。平成17年度からの3年間で8名の研修員を受け入れ、1名の専門家を派遣しました。

研修員は、それぞれ3週間から2ヶ月間の研修期間で、宇部市、山口大学工学部、市内企業を中心として、講義や見学により「宇部方式」や環境保全対策技術を学び、帰国しました。中国や威海市の環境保全対策と照らし合わせた議論が行われ、研修を受け入れた側

にとっても、中国の現状を知る良い機会となりました。研修員は帰国後多くの提案を行い、また、カウンターパートである威海市環境保護局は、環境保全対策を効果的に実施し、市内企業の管理職員を対象に環境保護法律講座を開き、企業内部の環境保護規則と制度の制定を指導しました。さらに、政府を通じて多くの法規を起草したため、関連部局では業務と責任が規範化され、平成19年10月には、産・官・学・民で構成される威海市環境科学学会が設立されました。

中国の国情、威海市の現状・環境管理手法・市民の環境保護意識の中で、宇部市で学んだことをどのように取り入れることができるかを、研修員と威海市環境保護局が、宇部市や派遣した専門家の指導を受けながら総合的に考慮したため、上記の成果を出すことができました。今後は、威海市の更なる環境改善と、威海市から他の地域へ環境保全対策が広がることを期待しています。



宇部市のリサイクルセンター視察



民間企業の取り組みについての講義

5. 開発教育支援・市民参加協力推進事業

もっと、国際協力を身近に感じて欲しい！
開発途上国について知って欲しい！

JICA中国では、これまでの国際協力活動を通して蓄積してきた開発途上国や国際協力に関する様々な情報や経験を、学校や地域社会に還元しています。海外で活躍した青年海外協力隊員による出前講座や海外研修員の学校訪問など、楽しく参加して、たくさん学べる機会をご用意しています。皆さん、奮ってお申込み・参加ください。



国際協力出前講座（写真を使って海外での活動の様子を話しています）

日程	市民参加協力推進事業	教師海外研修	国際理解教育研修会	研修員の学校訪問	高校生国際協力体験プログラム	国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト
4月		募集		募集 4/25 応募締切		
5月		5/9 応募締切 5/26 - 27 第1次派遣前研修	募集 5/11 第1次締切 5/26 第1回研修会	 5/25 東広島市立御園宇小学校 広島市立三田小学校	募集	
6月		6/16 - 17 第2次派遣前研修				6/8 募集開始
7月	平成19年度市民参加協力推進事業 随時実施	7/28 - 8/11 海外研修	募集	7/6 岡山県立玉野高等学校 7/13 岡山市立石井小学校	7/5 応募締切 7/13 決定通知	募集
8月					8/16 - 18 実施	
9月		9/3 研修報告書提出締切 9/29 - 9/30 第1次帰国後研修	9/7 第2次締切 9/29 - 9/30 第2回研修会	9/14 広島県立広高等学校	9/12 プログラム後のレポート/エッセイコンテストのコピー提出締切	9/12 募集締切
10月						
11月			募集			
12月						
1月		1/7 実践報告書提出締切 1/26 第2次帰国後研修	1/11 第3次締切 1/26 第3回研修会	1/18 広島市立安西小学校 1/24 三原市立幸崎中学校		
2月						
3月						3/9 表彰式(JICA中国)
視聴覚資料の貸し出し		JICA中国施設見学		国際協力出前講座		
随時申込受付・実施						

詳細は、JICA中国HP（<http://www.jica.go.jp/chugoku/>）をご参照ください。

JICA開発教育支援事業 出前講座事例紹介

青年海外協力隊OV 柿本 美佐

広島県福山市立旭丘小学校6年生の生徒の皆さんを対象に、青年海外協力隊OVの柿本美佐さんが出前講座を行いました。

「みんなホンジュラスって、どこにあると思う？」。そんな問い掛けで、柿本さんの出前講座は始まりました。大学卒業後、広島県庁に就職した柿本さんは、事務仕事に従事していましたが、一大決心して県庁を退職、看護学校へと進み、産科婦人科の看護師に転職しました。「人から直接ありがとう、といわれる仕事をしたい」。そんな思いからだそうです。

「どうして、その看護師を辞めたのだった？」。どんなに一生懸命に看護しても、病院は死んでしまう人がいる職場でした。「悲しくて、泣きたかった。でも『看護師は泣くべきではない』との職場の雰囲気があって、我慢し続けました。泣かないでいたら、どんどん溜まってしまって…」と打ち明けました。

そして、青年海外協力隊に参加することになりました。中米にあるホンジュラスという国で2年間、高校生にエイズ予防の大切さを訴える仕事をしました。

柿本さんは、子どもたちに熱く語り掛けます。「仕事とは何でしょうか。食べていくためにも必要だけど、それだけじゃないと思う。人を支えたり、よりよい社会をつくったりするためにあるの。みんなが今している学校の勉強は、自分のためだけでなく、将来仕事をして人の役に立つためでもあるの」

「ホンジュラスは、日本ほど物やお金があるわけじゃないけど、子どもたちにホンジュラスが好きかと聞くと、全員が好きと答える」「私の常識は日本のものであり、気候や風土、歴史が異なるホンジュラスには、その国に根ざした別の常識がある。まずは、それを受け入れよう」「人にとって大切なことは、どこの国へ行っても同じ。悲しい時はなぐさめてほしいし、日本で好かれる人は、どこでも好かれる」。体験に基づいた柿本さんの1つ1つの言葉に、子どもたちは目を輝かせていました。



国際協力出前講座：ホンジュラスでのボランティア体験を語る柿本さん

笑顔でつながる ～ 教師海外研修に参加して～ 山口市立大歳小学校 教諭 田中 紀子

私は平成19年7月29日から2週間の日程で、西アフリカのガーナへ、中国地方5県12名の先生方と行ってきました。折しも、ガーナは建国50周年。赤・緑・黄のアフリカ色に彩られた数々のデコレーションと「アクアパ=ようこそ ガーナへ！」のあたたかい言葉に迎えられ、緊張気味だった私たちの心も和みました。

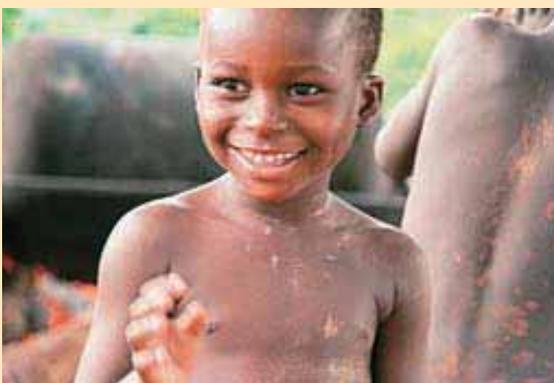
バスを北に走らせると、ブロック塀が続く家並みから一転、泥で塗り固められた壁と、藁をきのご型に組んだ屋根の風景に変わりました。私たちが8月に帰国後、この北部地域は恵みの雨を通り越して大洪水に見舞われたと聞きました。藁葺きで土塀の家々には、被害が甚大であったのではないかと、心を痛めずにはおられません。

北部滞在中は、教員養成大学、小中一貫校、NGO支援によるシアバター（シアの実からとれるバターで、化粧品等に使用）工場、寄生虫対策に携わる青年海外協力隊員の活動現場、未亡人・孤児支援施設等を見学しました。

中でもギニアワームと呼ばれる寄生虫病に感染した子どもたちの治療の様子は、あまりにも衝撃的でした。泥で汚れた素足から顔をのぞかせているギニアワーム…。長さは10cmくらいあったでしょうか。体内に成虫が入っても痛みやかゆみといった自覚症状がなく死に至らないこと、さらに消毒された透明な水よりも、ミルク色の泥水の方が甘くておいしいと、住民は感じているなど^{*1}、住民の間には危機意識も低く、予防が進まないのが現状だ、と青年海外協力隊員の方が嘆いておられました。

その国の発展のための経済的、人的支援は、私たちが常に考えていかなければならないことです。支援の結果、経済が成長することで解決する問題もありますが、その反面、その国に根付いている伝統や文化を否定することにならないかと、この度の研修から帰って考えるようになりました。

帰国後、勤務校の小学生にガーナの水事情について話をしました。日本では水道の蛇口をひねればいつでも使える水だけど、ガーナではとても貴重なものであることに、子どもたちは驚きを隠せなかったようです。私の勤務校の子どもたちとガーナで出会った子どもたちを対象に意識調査をした結果、次のようなことが分かりました。日本の子どもたちにとって大切なものは、ゲーム、パソコン、スポーツ道具など、生活をより豊かに楽しむためのモノ、ガーナの子どもたちにとって大切なものとは、食べ物、水、空気、教育など、生活の根幹に関わる必須のアイテムなのです。



精一杯生きているガーナの子ども笑顔



泥の壁と藁の屋根が連なる、ガーナ北部の村

ガーナでは、どこの視察先でも私たちを乗せたバスが到着すると、たくさん子どもたちが手をふりながら、満面の笑みを浮かべて近寄ってきます。“笑顔はもらっているのかな あげているのかな” 私は、ガーナと日本で、たくさん子どもたちの笑顔に出会い、この笑顔が子どもたちとつながるきっかけとなりました。自分は、子どもたちに笑顔をもらっただけで、笑顔を返しているのでしょうか…。自分の目の前にいる子どもたちの笑顔のために、そして世界各地で自分たちの生活を守りながら精一杯生きている子どもたちの笑顔のために、私自身がガーナで見聞きしたことを伝えていきたいと思っています。そして、子どもたちにいつでも笑顔のお返しができるよう、心の扉を全開にしておきたいです。

^{*1} 編集追記：これは、日本人が生魚介類に寄生虫がいると知りながら、美味しいので生で食べるのと同じことだと日本人専門家は言っていました。

高校生国際協力体験プログラムをきっかけに

鳥取商業高校 英語学科 2年

奥根 未奈、檜山 あゆみ、大江 麻未、垣本 綾乃

こんにちは。私たちは鳥取商業高校・英語学科の2年生です。

私たちは平成19年8月、JICA中国の「高校生国際協力体験プログラム」に参加しました。その中で、私たちは世界にある貧富の差を改めて知りました。そして日本がアジアの中でとても豊かであることを知り、不平等な現実を押し進めているのは私たちの住む日本、つまり先進国に責任の一端があることを強く感じました。

こうしたことをきっかけに、高校生の私たちでも何かできることはないかと考えるようになり、学校に帰ってからも参加したメンバー4人で話し合いました。その結果、私たちの学校の一大イベント「鳥商デパート」という、商業科の生徒が主体となって商品を販売するイベントに参加して、フェアトレードの商品を販売し、そのアイデアを広めようということになりました。

まず私たちは、英語科のほかの生徒にも世界の現状を理解してもらうことが大切だと考えました。そこで、「国際協力体験プログラム」で体験した「世界がもし100人の村だったら」のワークショップを、私たちがファシリテーターとなって行いました。初めはみんなが理解してくれるか心配でしたが、たくさんの人が「わかりやすかった」と言ってくれました。この活動をしてから、フェアトレードに興味・関心を持ってくれる人が出てきました。

そしてその人たちと、鳥商デパートでのフェアトレード商品販売の準備を進めていくことになりました。私たちに残された期間は2ヶ月という短いものでしたが、この期間で私たちは販売する商品を選び、その商品の生産国を調べ、お客様にわかりやすいように地図を作りました。準備の期間はあっという間に過ぎ、いよいよ本番となりました。予想以上に商品の売れ行きはよく、フェアトレードに興味を持ってくださる人もたくさんおられました。

私たちは夏から半年間、「高校生国際協力体験プログラム」をきっかけに世界の現状について深く考え、そしてフェアトレード商品の販売という自分たちに実現可能な活動につなげることができました。私たちの活動は、世界を変えられるほどの大きな力ではないけれど、この活動を続けていくことで、これからも私たち自身、そして周りの人たちも、国際協力についての考えをもっと深められるのではないかと、と思っています。



高校生プログラム

開発途上国の事、フェアトレードの事など、沢山知ることができました。自分の得た知識を人に伝えるのは、とても難しいことだったけど、さらに自分の知識が増えました。

<大江麻未>

高校生プログラムからフェアトレード商品を売るまでの過程で、沢山の人のに出会いました。国際協力が自分にとって身近になり、活動につなげていけるようになったと思います。

<垣本綾乃>

「誰かの役に立ちたい」という漠然とした思いを、具体的に活動する事ができたと思います。たくさんの人と触れ合う良いきっかけになり、貴重な体験をしました。

<奥根未奈>

私たち一人一人自信がつき、自分達の成長につながったと思います。みんなが知ることは大きな力となり、現状を変え得る、と思いました。

<檜山あゆみ>



鳥商デパート

6. 大学との連携協力

援助リソースとしての大学

大学は、JICAが実施する途上国援助に役立つリソース（人材、技術・情報、研修施設等の資源）を豊富に有しています。地球規模の問題がますます深刻化している現在、国際協力の対象や課題は、広範且つ多様になってきています。JICA中国は、各大学の特色・優位性を活かした連携活動を行っています。

連携の強み

JICAは、大学との連携強化によって、国際協力事業の質の向上を図っています。また、地元に近いネットワークと影響力を持つ大学と連携することによって、地域でのJICA事業の理解と協力をさらに推進することが期待できます。一方、大学側には、研究フィールドの拡充、国際協力の現場を教育の場として活用するなど、国際化促進のメリットがあります。



JICA・JBIC連携協議（山口大学）

JICA中国による大学との連携事業

JICA中国の主な業務は、海外からの研修員の受入と市民参加協力の実施です。後者は、青年海外協力隊等ボランティアの海外派遣、地域NGOによる海外での草の根技術協力実施の支援、学生等を対象とする開発教育（国際理解教育）支援です。下表は、これらの業務での大学連携協力の平成19年度の実績です。大学は、国際協力人材の育成拠点としても期待されます。

JICA中国による大学連携実績（平成19年度）

事業区分	連携内容	連携先大学
研修員の受入	海外研修員の受入	広島大学、県立広島大学、鳥取大学、水産大学校、鳴門教育大学
青年海外協力隊	派遣隊員の単位認定	広島大学
	推薦入学制度の適用	広島大学
	特別説明会による募集	広島大学、島根大学、広島国際学院大学、東亜大学、徳山大学、鳥取県立農業大学校、川崎医療福祉大学
開発教育支援	出前講座の実施	山口大学、鳥取大学、川崎医療福祉大学、山口県立大学、鳥取大学、広島女学院大学、岡山大学、広島国際学院大学、鳥取短期大学
	市民講座、講演の実施	近畿大学
	JICA中国での異文化体験教室	広島大学、筑波大学
連携講座	「国際協力論」授業への講師派遣	山口大学
包括連携協力	協定書・覚書に基づく協力（特別料金による宿泊施設の使用を含む）	広島大学、山口大学
その他	国際就職セミナーへの講師派遣	広島大学

第2部 実績・参考資料

平成19年度事業実績

研修員受入実績.....	16
研修員福利厚生事業実績.....	19
日本語研修実施実績.....	20
青年研修受入実績.....	21
海外ボランティア新規派遣実績.....	22
草の根技術協力事業実績.....	24
市民参加協力事業（連携事業）実績.....	25
国際協力出前講座実績.....	26
JICA中国施設見学受入実績.....	32
教師海外研修実績.....	33
国際理解教育研修会.....	34
教育行政及び教員組織との連携実績.....	37
研修員の学校訪問実績.....	38
高校生国際協力体験プログラム.....	39
高校生エッセイコンテスト応募実績と入賞者.....	42
中学生エッセイコンテスト応募実績と入賞者.....	43
海外視察等に関する支援・便宜供与実績.....	45
海外記者派遣実績.....	46
職場体験受入実績.....	46
広島大学との連携協力実績.....	47
海外ボランティアによる「原爆展」開催実績.....	48

参 考 資 料

主な関係団体（中国5県）.....	49
国際協力機構の組織図.....	50
JICA中国の沿革.....	51
JICA中国の組織図・業務内容.....	52
JICA中国の職員.....	53

平成19年度 研修員受入実績

(1) 技術研修員受入実績

合計 260名

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
廃棄物管理総合技術	集団	9	バングラデシュ、ドミニカ共和国、イラク、メキシコ、フィリピン、セントルシア、スリランカ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、トルコ	平成19年5月9日～平成19年8月5日	広島県環境部環境対策局環境調整室	ひろしま国際センター
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	集団	10	アルメニア、バングラデシュ、インドネシア、モンゴル、パキスタン、スリランカ、シリア、ウズベキスタン、ベトナム	平成19年5月15日～平成19年7月7日	海外電力調査会、(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	海外電力調査会
乾燥地水資源の開発と環境評価	集団	10	カンボジア、中華人民共和国、エチオピア、ホンジュラス、ケニア、ペルー、タンザニア、タイ、東ティモール	平成19年7月3日～平成19年11月11日	(国)鳥取大学農学部・乾燥地研究センター	(国)鳥取大学
中等科学教育実技	集団	5	ガーナ、マラウイ、ウガンダ、タンザニア、ザンビア	平成19年8月7日～平成19年9月30日	(国)広島大学大学院教育学研究科	(国)広島大学
持続可能な地域観光振興	集団	12	アルゼンチン、ドミニカ共和国、エクアドル、ラオス、モンゴル、ペルー、南アフリカ共和国、タイ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、ザンビア	平成19年9月4日～平成19年11月11日	広島県商工労働部産業振興局観光振興室、(国)広島大学大学院地域経済システム研究センター	ひろしま国際センター
養殖魚の健康と安全管理	集団	6	カンボジア、中華人民共和国、インド、ケニア、マダガスカル、ミャンマー	平成19年9月4日～平成19年11月23日	(独)水産大学校	(独)水産大学校
食品加工・保全技術	集団	6	カンボジア、中華人民共和国、ラオス、フィリピン	平成20年1月8日～平成20年3月16日	広島県立食品工業技術センター	ひろしま国際センター
地域水産業の持続的発展に寄与する行政担当者育成	集団	5	カメルーン、ハイチ、モロッコ、スリランカ、タイ	平成20年3月26日～平成20年6月21日	(独)水産大学校	(独)水産大学校
南東欧地域「地域産業振興政策」	地域別	7	モンテネグロ、セルビア、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国	平成19年6月5日～平成19年7月8日	県立広島大学	ひろしま国際センター
仏語圏アフリカ「教育行政」	地域別	10	ベナン、ブルキナファソ、コートジボワール、マダガスカル、ニジェール、セネガル	平成19年6月5日～平成19年7月15日	(国)広島大学高等教育研究開発センター、広島県立教育センター	ひろしま国際センター
中東地域「上水道維持管理」	地域別	9	イラク、ヨルダン、オマーン、パレスチナ、サウジアラビア、シリア	平成19年6月26日～平成19年9月2日	広島市水道局	広島市水道局
中南米地域「生活排水処理」	地域別	12	アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、コスタリカ、エクアドル、エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス、ニカラグア、パナマ、パラグアイ	平成19年9月18日～平成19年11月16日	東広島市	ひろしま国際センター

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
南西アジア地域 「公害防止行政」	地域別	10	バングラデシュ、インド、 ネパール、パキスタン、ス リランカ	平成19年9月25日～ 平成19年12月23日	広島県環境部環境対策 局環境調整室	ひろしま国 際センター
中南米地域 「治安対策強化セミナー」	地域別	10	ブラジル、コロンビア、コス タリカ、ドミニカ共和国、エ ルサルバドル、グアテマラ、 ホンジュラス、ニカラグア、 パナマ、ペルー	平成19年12月2日～ 平成19年12月19日	広島県警察本部	ひろしま国 際センター
南部アフリカ地域 「中小企業育成」	地域別	7	レソト、マラウイ、モー リシャス、スワジランド、ザ ンビア	平成20年1月8日～ 平成20年3月9日	ひろしま国際セン ター、広島県商工労働 部	ひろしま国 際センター
サブサハラ・アフリカ地域 「平和構築としてのガバナ ンス能力強化」	地域別	12	リベリア、ルワンダ、シ エラレオネ、ウガンダ	平成20年1月22日～ 平成20年2月17日	(国)広島大学平和化学 研究センター	ひろしま国 際センター
アジア地域 「ノンフォーマル教育拡 充」	地域別	12	バングラデシュ、カンボジア、 インド、インドネシア、ラオ ス、ネパール、パキスタン、 フィリピン、タイ、ベトナム	平成20年2月17日～ 平成20年3月16日	(国)広島大学教育開発 国際協力研究センター (CICE)	(国)広島大学
課題別研修 小計		152				
国際収支・国際経済マネ ジメント能力強化	国別	9	インドネシア	平成19年8月7日～ 平成19年8月25日	(国)広島大学大学院国 際協力研究科(I D E C)	(国)広島大学
中等理数科教育実技	国別	5	ケニア	平成19年8月7日～ 平成19年10月7日	(国)広島大学大学院教 育学研究科、(国)広島 大学 I D E C	(国)広島大学
養殖魚の健康と安全管理	国別	1	トルコ	平成19年9月4日～ 平成19年11月23日	(独)水産大学校	(独)水産大学 校
養殖魚の健康と安全管理	国別	1	ベトナム	平成19年9月4日～ 平成19年11月23日	(独)水産大学校	(独)水産大学 校
地方行政	国別	10	カンボジア	平成19年10月2日～ 平成19年11月11日	東広島市	ひろしま国 際センター
配電網改善	国別	10	イラク	平成19年10月21日～ 平成19年11月15日	中国電力(株)	海外電力調 査会
理数科教員養成者研修	国別	10	南アフリカ	平成19年10月30日～ 平成19年12月9日	(国)広島大学CICE、 (国)鳴門教育大学	(国)広島大 学、(国)鳴門 教育大学
水産加工	国別	1	モロッコ	平成19年11月4日～ 平成19年12月4日	(独)水産大学校	(独)水産大学 校
女性起業家育成支援	国別	10	フィリピン	平成19年11月6日～ 平成19年12月16日	広島県、広島県女性 会議	ひろしま国 際センター
発電所エネルギー効率改 善	国別	8	トルコ	平成19年11月13日～ 平成19年12月16日	(株)パワー・エンジニア リング・アンド・ト レーニングサービス	(株)中国電力
現職教員研修制度	国別	2	ガーナ	平成19年11月18日～ 平成19年11月24日	JICA直営	なし

(前項に続く)

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
火力発電所エネルギー	国別	2	トルコ	平成19年12月2日～平成19年12月9日	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	(株)中国電力
中小企業育成促進	国別	5	ガーナ	平成20年1月8日～平成20年3月9日	広島県商工労働部	ひろしま国際センター
水産環境工学	国別	2	ベトナム	平成20年2月3日～平成20年2月24日	(国)広島大学環境安全センター	(国)広島大学
初等教育アドバイザー	国別	2	バングラデシュ	平成20年2月4日～平成20年2月14日	(国)広島大学IDEC	(国)広島大学
INSET運営管理	国別	12	ケニア	平成20年2月5日～平成20年3月9日	(国)広島大学IDEC、広島県立教育センター	ひろしま国際センター
INSET運営管理	国別	3	ウガンダ	平成20年2月5日～平成20年3月9日	(国)広島大学IDEC、広島県教育センター	ひろしま国際センター
INSET運営管理	国別	2	ナイジェリア	平成20年2月5日～平成20年3月9日	(国)広島大学IDEC、広島県教育センター	ひろしま国際センター
火力発電	国別	9	イラク	平成20年2月12日～平成20年3月14日	(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	海外電力調査会
国別研修 小計		104				
中等理数科教育	長期	1	ケニア	平成17年9月26日～平成20年4月3日	(国)広島大学IDEC	(国)広島大学
環境管理技術能力向上	長期	1	ベトナム	平成18年9月3日～平成20年10月3日	(国)広島大学IDEC	(国)広島大学
灌漑水資源土壌	長期	1	イラク	平成19年9月25日～平成22年4月3日	(国)広島大学大学院生物圏科学研究科環境循環系制御学専攻コース	(国)広島大学
教育開発	長期	1	イラク	平成20年2月26日～平成20年4月28日	(国)広島大学IDEC、教育文化専攻教育開発コース	(国)広島大学
長期研修 小計		4				

(2) 日系研修員受入実績

合計 3名

コース名	タイプ	人数	受入国	受入期間	主な実施機関	研修委託先
裸地・林地の放射収集・熱収集と仮導管レベルの年輪解析	日系	1	ブラジル	平成19年4月16日～平成19年7月12日	(国)広島大学大学院総合科学研究科	(国)広島大学
大気汚染・酸性雨・地球温暖化の化学	日系	1	パラグアイ	平成18年4月17日～平成19年7月1日	(国)広島大学総合科学部	(国)広島大学
保健医療(口腔保健学)	日系	1	ブラジル	平成18年5月8日～平成19年4月22日	(国)広島大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学講座	(国)広島大学

平成19年度 研修員福利厚生事業実績

単位：名

区分	事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間参加人数
日本文化体験	茶道教室			20	18	18	23	18	9	18		14	9	147
	華道教室		11	11	8		16	9	10	10		5	10	90
	着付け教室		15	8	8		21		10		25			87
	書道教室				13	9		16				11		49
	日本文化体験デー							30				49		79
	伝統芸能鑑賞					39 <small>注1:次郎丸太鼓</small>						19 <small>注2:新年交流会</small>		58
	小計													510
レクリエーション	バスツアー		20 <small>宮島</small>		24 <small>神楽門前湯治村</small>		20 <small>宮島</small>	38 <small>神楽門前湯治村</small>	26 <small>宮島</small>	13 <small>宮島</small>		32 <small>宮島</small>	36 <small>宮島</small>	209
	カクテルパーティー			26				41				40		107
	パソコン教室					9	7				13	44		73
	小計													389
地域交流	ホームステイ		2			8			15			1		26
	ホームビジット		3			8			9			10		30
	地域行事参加					17 <small>注3:三原やっさ祭り</small>	16 <small>注4:HIPスポーツ大会</small>	94 <small>注5:西条酒まつり</small>			11 <small>注6:御園宇小学校とんど祭</small>			138
	国際理解講座 「HIPで世界を楽しもう！」				16		15		20			14		65
	ボランティア相談日		7	4	11	6	11		6		4	3		52
	ロビーイベント (けん玉・民謡・空手・マンドリン他)			35	36	20	55		25	40				211
	ミニコンサート (ピアノ・民謡・英語落語他)					17	25	58				137	46	283
	ロビー展示 (池坊活花展示他)													0
	クッキング交流			15	9									24
	クッキング交流 (日本料理)											7		7
	その他地域交流 (公民館、団体との交流他)								16					16
小計													852	
総参加人数														1,751

注1：次郎丸太鼓

注2：新年交流会

注3：三原やっさ祭り

注4：HIPスポーツ大会

注5：西条酒まつり

注6：御園宇小学校
とんど祭り

西条酒造組合次郎丸太鼓チームと長束BoomBoomによる、太鼓演奏と交流会。

研修員が餅つきと正月料理を体験するとともに、ひろしま国際プラザ運営協力者との交流を図る。外国の祝い料理の試食・日本の玩具・邦楽KAMOによる邦楽演奏の観賞。

広島県三原市の三原やっさ祭り参加(三原ライオンズクラブからの招待)研修員とライオンズクラブ会員が「国際交流チーム」として、浴衣姿で三原駅前周辺をやっさ踊りを踊りながら練り歩いた。

広島大学生のボランティアと、バドミントンやバレーボールなどスポーツで交流。

広島県東広島市西条駅前周辺で実施された「酒まつり」に研修員はハッピーを着て参加し、御輿担ぎ(10/13)や酒蔵めぐり(10/14)他、日本の秋祭りを体験。

研修員が地元(広島県東広島市立御園宇小学校)で行われるとんど祭りに参加し、地域の人たちと交流しながら日本の伝統行事を体験。

平成19年度 日本語研修実施実績

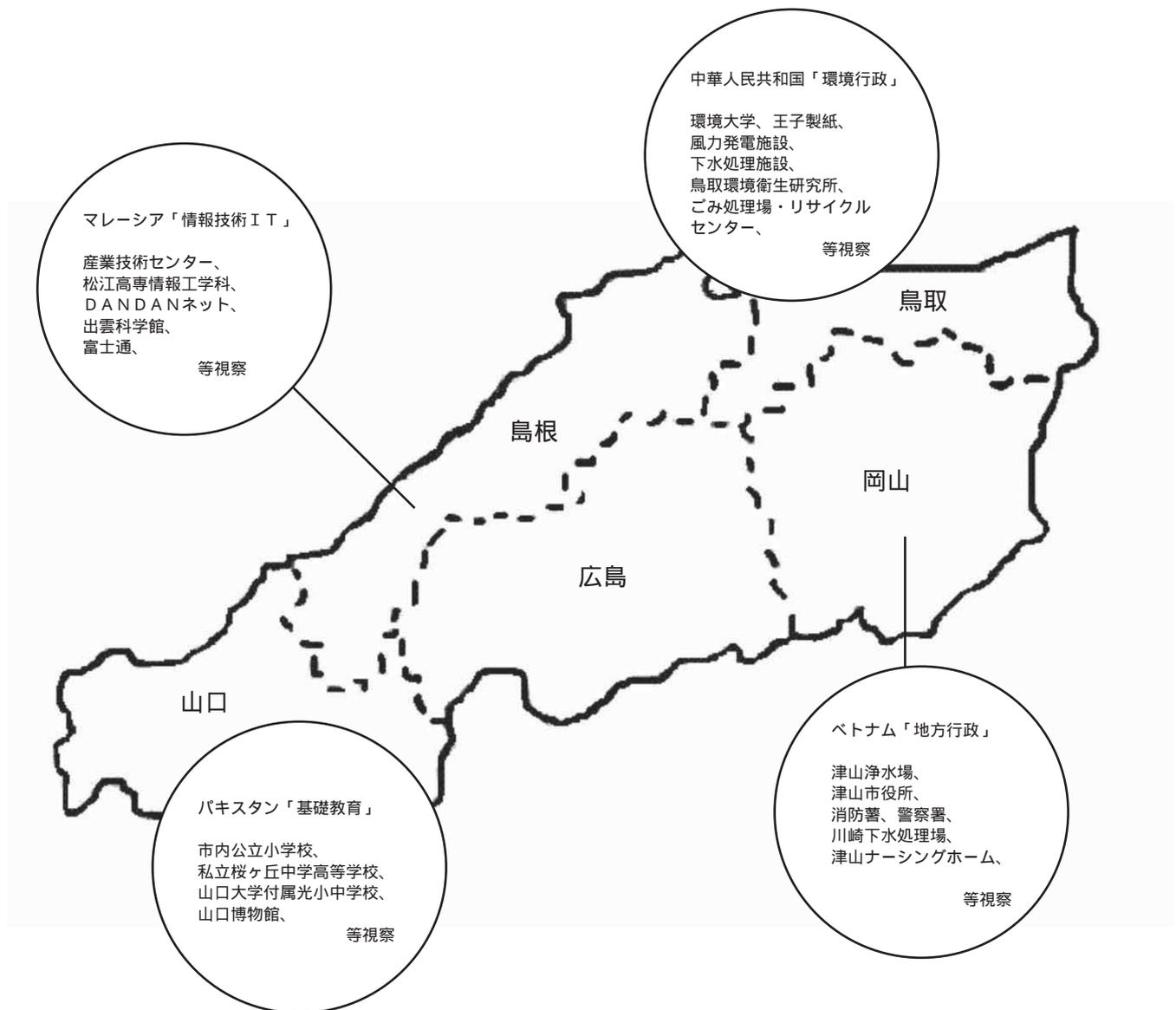
研修コース名	技術研修		日本語研修								備考
	実施機関名	受入数	集中講習	回数	時間数	受講者数	一般講習 (登録制)	回数	時間数	対象者数	
沿岸漁業の統合的な管理手法	(独)水産大学校	5	4/2~4/6	5	25	5	なし	0	0	0	
廃棄物管理総合技術	広島県環境局循環型社会推進室	9	5/21~5/24	4	20	9	第1期(実践)	10	20	9	5/25 東広島市御園宇小学校訪問 日本語夜間実践10日
ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電	(社)海外電力調査会、(株)パワー・エンジニアリング・アンド・トレーニングサービス	10	5/21~5/24	4	20	10	なし	0	0	0	5/25 広島市立三田小学校訪問
南東欧地域産業振興政策	広島県立大学	7	なし	0	0	0	第1期(入門)	3	6	7	日本語夜間3日
仏語圏アフリカ「教育行政」	広島大学、広島県立教育センター	10	なし	0	0	0	第2期(入門)	3	6	10	日本語夜間3日
中東地域「上水道維持管理」	広島市水道局	9	7/2~7/5	4	20	9	第2期(実践)	8	16	9	7/6 岡山県立玉野高等学校訪問 日本語夜間実践8日
乾燥地水資源の開発と環境評価	鳥取大学農学部	10	7/9~7/12	4	20	10	なし	0	0	0	7/13 岡山市立石井小学校訪問
中等科学教育実技	広島大学大学院教育学研究科	10	8/13~8/17	5	25	10	第3期(実践)	10	20	10	日本語実践夜間10日 CP(5名)含め10名実施
持続可能な地域観光振興	広島県商工労働部、広島大学経済学部地域経済システム研究センター	12	9/10~9/13	4	20	12	第4期(実践)	8	16	12	日本語集中4日(祝日のため) 実践夜間8日
養殖業の健康と安全管理	(独)水産大学校	7	9/10~9/13	4	20	7	なし	0	0	0	9/14 広島県立広高等学校訪問
中南米地域「生活排水処理計画」	東広島市	12	10/1~10/5	5	25	12	第5期(実践)	10	20	12	集中5日、実践夜間10日
南西アジア地域「公害防止行政」	広島県環境局環境調整室	10	10/9~10/12	4	20	10	第6期(実践)	10	20	5	集中5日、実践夜間10日
カンボジア「地方行政」	東広島市	10	なし	0	0	0	第3期(入門)	3	6	10	日本語実践夜間3日
イラク「配電網改善」	中国電力(株)	10	なし	0	0	0	第4期(入門)	3	6	10	夜間3日
南アフリカ共和国「理科数教員養成者研修」	広島大学、鳴門教育大学	10	なし	0	0	0	第5期(入門)	3	6	10	日本語夜間3日
フィリピン「女性起業家育成支援」	広島県、(財)女性会議	10	なし	0	0	0	第6期(入門)	3	6	10	日本語実践夜間3日
食品加工・保全技術	広島県立食品工業技術センター、(財)ひろしま国際センター	6	1/15~1/21	4	20	6	第7期(実践)	10	20	6	1/18 広島市立安西小学校訪問 日本語集中4日
南部アフリカ地域「中小企業育成」	(財)ひろしま国際センター、広島県商工労働部	7	1/21~1/25	4	20	7	第8期(実践)	8	16	6	1/25 三原市立幸崎中学校訪問 日本語実践夜間8日
ガーナ「中小企業育成促進」	(財)ひろしま国際センター、広島県商工労働部	5		0	0	5		0	0	4	南部アフリカ地域「中小企業育成」の第8期(実践)コースに、研修員4名参加。
サブサハラアフリカ地域「平和構築としてのガバナンス能力強化」	広島大学	12	なし	0	0	0	第8期(入門)	3	6	12	日本語夜間3日
アジア地域「ノンフォーマル教育拡充」	広島大学	12	なし	0	0	0	第9期(入門)	3	6	12	日本語夜間3日
ケニア「INSET管理運営」	広島県教育センター、(財)ひろしま国際センター	17	なし	0	0	0	第10期(入門)	6	12	17	CP5名+12名=17名 2クラス編成
合計 29コース(283名)		210	12コース	51	255	112	17コース	104	208	171	

- 1 集中講習は、計25時間又は50時間コース。原則として、月曜日から金曜日の5日間(5時間/日)実施。(祝祭日を除く)
- 2 一般講習(実践コース)は、計20時間コース。原則として、火曜日から木曜日のうち週2日(2時間/日)ずつ5週間実施。ただし、受講希望者が5名以上(1コース10名程度)の場合のみコース開設。(実践コース:集中講習受講者対象)
- 3 一般講習(入門コース)は、計6時間コース。原則として、研修の第1週又は第2週に計3日間(2時間/日)実施。(入門コース:集中講習未受講者対象)
- 4 特別活動は、原則として、月曜日又は金曜日に週1日(1~2時間/日)程度実施。(祝祭日及び福利厚生事業実施日等を除く)
- 5 1クラス定員13名まで、14名以上は2クラス編成とする。

平成19年度 青年研修受入実績

合計 4件
参加者数 72名

県名	国・地域名	分野	人数	受入団体	地方プログラム受入期間
山口県	パキスタン	教育（基礎教育教員養成1）	10	世界青年徳山友の会	平成19年11月13日～ 平成19年11月30日
鳥取県	中華人民共和国	環境行政	20	とっとり青友会	平成19年11月13日～ 平成19年11月30日
島根県	マレーシア	情報技術（IT）	16	島根県地域国際協力連合会	平成19年11月4日～ 平成19年11月21日
岡山県	ベトナム	地方行政	26	津山と世界を結ぶ会	平成19年11月19日～ 平成19年12月6日



平成19年度 海外ボランティア新規派遣実績

(1) 青年海外協力隊新規派遣実績

合計 90名

県名	派遣国	職種
鳥 取 10名	ニジェール	植林
	セントビンセント	幼児教育
	ウガンダ	医療機器
	コスタリカ	作業療法士
	ニカラグア	小学校教諭
	パラグアイ	日本語教師
	タイ	日本語教師
	ベトナム	生態調査
	ニカラグア	小学校教諭
	フィジー	青少年活動
島 根 8名	ニジェール	小学校教諭
	マーシャル	小学校教諭
	ガーナ	理数科教師
	シリア	音楽
	カンボジア	日本語教師
	モロッコ	美容師
	キルギス	理学療法士
	トンガ	日本語教師
岡 山 25名	マレーシア	作業療法士
	ネパール	村落開発普及員
	スリランカ	環境教育
	スリランカ	村落開発普及員
	タンザニア	エイズ対策
	タンザニア	理数科教師
	ベリーズ	PCインストラクター
	ニカラグア	体育
	マーシャル	理数科教師
	ニジェール	家政
	ザンビア	理数科教師
	サモア	野菜
	ネパール	統計
	ウガンダ	家政
	ブルキナファソ	野菜
	チュニジア	言語聴覚士
	パヌアツ	小学校教諭
	バングラデシュ	看護師
	ニジェール	体育
	ブルキナファソ	バレーボール
	フィジー	自動車整備
	タンザニア	行政サービス
	ヨルダン	養護
	マレーシア	作業療法士
	ヨルダン	プログラムオフィサー

県名	派遣国	職種
広 島 22名	カンボジア	小学校教諭
	カンボジア	小学校教諭
	パキスタン	作業療法士
	マラウイ	理数科教師
	ナミビア	理数科教師
	ポリビア	栄養士
	ホンジュラス	小学校教諭
	ケニア	家畜衛生
	ウガンダ	理数科教師
	ドミニカ	音楽
	メキシコ	手工芸
	グアテマラ	助産師
	フィジー	コンピューター技術
	シリア	保健師
	サモア	木工
	ソロモン	言語聴覚士
	ベリーズ	体育
	グアテマラ	環境教育
	ニジェール	野菜
	ペルー	村落開発普及員
ヨルダン	プログラムオフィサー	
ラオス	手工芸	
山 口 25名	ネパール	環境教育
	フィリピン	保健師
	ケニア	自動車整備
	ニジェール	理数科教師
	セネガル	青少年活動
	エルサルバドル	空手道
	メキシコ	理学療法士
	フィジー	野菜
	インド	柔道
	マレーシア	環境教育
	モロッコ	村落開発普及員
	ホンジュラス	家政
	フィジー	土木
	バングラデシュ	水泳
	エクアドル	工作機械
	マーシャル	理数科教師
	ニジェール	感染症対策
	ドミニカ共和国	村落開発普及員
	ソロモン	エアロビクス
	メキシコ	理学療法士
ケニア	小学校教諭	
パキスタン	自動車整備	
ドミニカ	作業療法士	
パキスタン	野菜	
中華人民共和国	日本語教師	

* 青年海外協力隊：一般隊員、一般短期（緊急）隊員、シニア隊員、シニア隊員緊急派遣、調整員、調整員短期を含む。

(2) シニア海外ボランティア新規派遣実績

合計 10名

県名	派遣国	職種
島 根	ドミニカ共和国	陶器生産
岡 山	ベトナム	教育
	コスタリカ	都市計画・土地造成
広 島	ザンビア	機械工業
	モロッコ	社会福祉
	エチオピア	上水道
	サモア	理数科教師
山 口	パキスタン	教育
	メキシコ	商業経営
	ネパール	農業一般

(3) 日系社会青年ボランティア新規派遣実績

合計 1名

県名	派遣国	職種
広 島	ドミニカ共和国	日本語教師

(4) 日系社会シニアボランティア新規派遣実績

合計 2名

県名	派遣国	職種
広 島	パラグアイ	編集
山 口	ブラジル	福祉

平成19年度 草の根技術協力事業実績

(草の根協力支援型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
パラオ共和国	パラオ共和国での学校検診実施のための技術協力	日本パラオ協会	平成17年11月1日～平成20年10月31日
インドネシア	エンレカン県酪農研修センター運営支援プロジェクト	特定非営利活動法人 三瓶スラウェシ友好促進センター	平成18年4月5日～平成21年3月31日

(草の根パートナー型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
中華人民共和国	岡山 - 上海高齢者介護教員養成センター	社会福祉法人 旭川荘	平成17年4月15日～平成20年3月21日
ザンビア	ルサカ市非計画居住地区結核対策プロジェクト	特定非営利活動法人 アムダ	平成17年7月1日～平成20年2月29日
カンボジア	小学校体育科指導書作成支援プロジェクト	特定非営利活動法人 ハート・オブ・ゴールド	平成18年2月1日～平成20年7月31日
ホンジュラス	エルパライス県母子保健向上支援事業	特定非営利活動法人 アムダ	平成19年8月10日～平成22年1月31日

(地域提案型)

国名	案件名	実施団体名	実施期間
カンボジア	カンボジア元気な学校プロジェクト	ひろしま平和貢献ネットワーク協議会	平成17年11月1日～平成20年3月31日
中華人民共和国	威海市個別研修「環境保全パートナーシップコース」	宇部環境国際協力協会	平成18年2月20日～平成20年3月31日
中華人民共和国	日中療育技術交流事業	鳥取県立総合療育センター	平成18年10月16日～平成21年3月31日
中華人民共和国	寧夏回族自治区における汚泥総合利用技術の確立	島根県	平成19年8月20日～平成22年3月31日

19年度 市民参加協力事業(連携事業)実績

実施回数： 12件
参加者総数：10,629名

開催県	市町村	事業名	実施日	会場	共催	後援	対象者	参加人数
鳥取県	倉吉市	鳥取県国際理解教育研究会	7月28日	伯耆しあわせの郷	鳥取県海外子女教育・国際理解教育研究協議会	鳥取県教育委員会、倉吉市教育委員会	県内の教育関係者、国際理解教育に関心のある方	28
島根県	松江市	地球時代の学び実践研究会夏季研修会	8月20日	松江市立城西公民館	島根県国際理解教育研究会		島根県内各小・中学校教職員	30
	浜田市	JICAボランティア帰国報告会	12月7日	リハビリテーションカレッジ島根	島根県文化国際課	(財)しまね国際センター、島根県青年海外協力協会	専門学校生、一般市民	109
岡山県	倉敷市	世界の子どもの絵画展	10月13日～15日	イオンモール倉敷	岡山県、中国江西省人民政府		一般県民	2,000
広島県	東広島市	東広島市生涯学習大学システム「JICA市民講座」	4月26日	ひろしま国際プラザ	東広島市		高校生以上の一般市民	18
			11月15日					12
		酒まつり「ひろしま国際ひろば」	10月13日～14日	西条駅周辺			一般市民	2,000
		ひろしま国際プラザ施設公開	11月26日	ひろしま国際プラザ			一般市民	150
	広島市	国際交流・協力の日	11月4日	広島国際会議場	(財)ひろしま国際センター、広島市、(財)広島平和文化センター	広島県、広島県教育委員会、広島市教育委員会、広島県PTA連合会、広島市PTA協議会、広島県高等学校PTA連合会、広島県私立中等高等学校教育後援会、中国新聞社、(株)中国放送、広島テレビ放送(株)、(株)広島ホームテレビ、(株)テレビ新広島、広島エフエム放送(株)	一般市民	6,100
		カンボジア・スタディーツアー	2月18日～25日	カンボジア	(財)ひろしま国際センター		18歳以上の広島県民	27
広島市	国際理解セミナー	3月16日	留学生会館	(財)ひろしま国際センター	(財)ひろしま国際センター、(財)広島平和文化センター、青年海外協力隊広島県OV会	一般市民、教員、学生	70	
山口県	山口市	周防大島町小・中学校第3回 教育力向上ステップアップセミナー	7月24日	大島文化センター	周防大島町教育委員会		町内の小中学校教員	25
		山口県国際理解教育研究大会	8月20日	セントコア山口	山口県国際理解教育研究会	山口県教育委員会、山口市教育委員会、(財)山口県国際交流協会	教員、一般市民	60

平成19年度 国際協力出前講座実績

実施総回数： 204件
参加者総数： 19,381名

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名	
鳥取県	4月17日	鳥取大学医学部サークル「国際保健友の会ハクナマタタ」(鳥取大学医学部)	医学部サークルハクナマタタ会員	25	医療分野における海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	後藤法子	
	6月7日	鳥取大学農学部	農学部3年生	42	「国際農村開発学」応募の経緯、任国での生活、活動内容	国際協力推進員	花岡潤	
	6月12日	鳥取市教育委員会(鳥取市文化センター)	鳥取市民大学参加者	40	海外ボランティア体験談と任国の歴史、現状、習慣	青年海外協力隊経験者	渡辺由美	
	6月21日	米子市立弓ヶ浜中学校	中学1～3年生	300	海外ボランティア体験談：参加動機、活動内容、現地の生活、今後の展望	青年海外協力隊経験者	渡辺由美	
	6月26日	鳥取市教育委員会(鳥取市文化センター)	鳥取市民大学参加者	40	海外ボランティア体験談と任国の歴史、現状、習慣	青年海外協力隊経験者	赤松是伸	
	8月24日	米子市車尾公民館	車尾校区一般市民	45	ラオスの国情、海外ボランティア体験談および参加動機について	青年海外協力隊経験者	佐々木由希	
	10月4日	伯耆町立岸本小学校	小学4年生	54	バングラデシュ国の事情、JICAについて	国際協力推進員	長富邦恵	
	10月17日	倉吉北高等学校	高校2年生	25	人権教育(HIV、AIDSについて)：海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	柿本美佐	
	10月19日	鳥取市立東郷小学校	小学5年生	9	外国の事情について：パプアニューギニアの食糧問題	青年海外協力隊経験者	石塚智信	
	10月26日	鳥取市立高草中学校	中学1～3年生	20	キャリア教育：海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	赤松是伸	
	11月8日	鳥取県立倉吉農業高等学校	高校1～3年生	67	青年海外協力隊活動を通じた、外国の事情や農業の様子について	青年海外協力隊経験者	石塚智信	
	11月11日	ハローほうき国際交流連絡会(米子市男女共同参画センター他)	一般市民	300	外国の事情について	国際協力推進員	渡辺由美	
	11月25日	米子工業高等専門学校インターアクトクラブ(ふれあいの里)	高校1～3年生	48	国際ボランティアの紹介と実際の活動体験談	青年海外協力隊経験者	ジユバテ麻子	
	12月6日	八頭町立八東中学校	中学2年生	16	JICA、海外ボランティア、外国の事情について	国際協力推進員	渡辺由美	
	12月14日	鳥取市立福部中学校	中学1～3年生	18	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	渡辺由美	
	12月16日	鳥取短期大学国際文化交流学科	短大2年生、一般市民	11	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	渡辺由美	
	1月29日	鳥取短期大学	大学1年生(幼児教育保育学科)	110	保育士隊員として海外活動した経験、日本とは異なる環境で育つ子どもたちの様子	国際協力推進員	渡辺由美	
	2月6日	鳥取県立八頭高等学校	高校2年生	40	海外ボランティアの体験談、JICA、外国の事情について	国際協力推進員	渡辺由美	
	2月7日	西伯郡南部町立会見小学校	小学6年生	27	海外ボランティア体験談、外国の事情について	国際協力推進員	渡辺由美	
	2月8日	境港市教育委員会生涯学習課(境港市保健相談センター)	青少年育成関係者(中高年が中心)	80	海外ボランティアの体験談(ニジュール)、外国の事情について	国際協力推進員	渡辺由美	
	2月12日	鳥取市立世紀小学校	小学6年生	88	海外ボランティアの体験談(ニジュール)、外国の事情について	青年海外協力隊経験者	谷田孝之	
	2月25日	八頭町立八東中学校	中学3年生	27	公民学習「国際問題と地球市民」：「貿易ゲーム」の実施	国際協力推進員 青年海外協力隊経験者	渡辺由美 久保貴史	
	2月26日	八頭町立八東中学校	中学3年生	26	公民学習「国際問題と地球市民」：「貿易ゲーム」の実施	国際協力推進員	渡辺由美	
	3月11日	米子市立明道小学校	小学1・6年生	104	海外ボランティアの体験談、JICAと外国の事情について	国際協力推進員	渡辺由美	
	3月12日	鳥取YMCA・ワイメンズクラブ(YMCA会館)	ワイメンズクラブ員ほか	13	海外ボランティアの体験談、JICAと外国の事情について	青年海外協力隊経験者	谷田孝之	
	3月17日	上道公民館	地域住民一般	27	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	渡辺由美	
	島根県	5月18日	出雲市立湖陵中学校	中学3年生	24	タンザニアでの体験談	青年海外協力隊経験者	岸幹人
		5月24日	松徳幼稚園	園児、保護者	36	ポリビアでの生活や子どもたちの様子	青年海外協力隊経験者	桑野香奈
		6月7日	木次町国際交流協会(サンワーク木次)	木次町国際交流協会会員	13	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	渡辺由美
		6月14日	松江市立内中原小学校	小学6年生	86	世界の子どもの抱えている問題(飢餓、貧困、内戦)	国際協力推進員	長富邦恵
		7月6日	浜田市立浜田東中学校	中学2年生	66	海外ボランティア体験談、外国の事情について	国際協力推進員	長富邦恵
		8月16日	島根県高等学校家庭クラブ連盟(島根県立青少年の家)	高校1～3年生	120	海外ボランティア体験談(環境問題、環境保全)	国際協力推進員	長富邦恵
		9月1日	島根県文化国際課(島根県職員会館)	青年交流の翼・中国プログラム参加者	12	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵
9月9日		(財)ラボ国際交流センター(松江市国際交流センターイベントホール)	小学1年生～大人	60	海外ボランティア体験談、ワークショップ	国際協力推進員	長富邦恵	
9月13日		松徳幼稚園	園児、保護者	35	バングラデシュでの生活や子どもたちの様子について	国際協力推進員	長富邦恵	
9月14日		松江市立城北小学校	小学6年生	98	ワークショップ「世界がもし98人の村だったら」、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	長富邦恵	
9月22日		NEAR交流の船10周年記念事業実行委員会(島根県立青少年の家)	NEAR交流の船参加者(一般社会人・公務員が中心)	35	ワークショップ「日本の箱」の実施	国際協力推進員	長富邦恵	
9月26日		出雲市立第二中学校	中学3年生	87	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	長富邦恵	
10月19日		飯南町立頼原小学校	小学6年生	18	「世界がもし100人の村だったら」ワークショップの実施	国際協力推進員	長富邦恵	

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
島根県	11月2日	西ノ島町国際交流協会(黒木小学校)	小学3～6年生、教員、保護者	31	海外ボランティアの体験談、海外事情について	国際協力推進員	長富邦恵
	11月10日	松江西高等学校インターアクトクラブ(サンレイク)	高校生(インターアクトクラブ会員)	50	ワークショップの実施	国際協力推進員 青年海外協力隊経験者	長富邦恵 髻谷京子
	12月2日	オールドグッカ地区識字教育支援チャリティ実行委員会(松江市国際交流会館)	一般市民	40	バングラデシュの事情について(教育事情、識字教育の必要性)	国際協力推進員	長富邦恵
	12月5日	浜田市立第一中学校	中学1年生	180	青年海外協力隊員としての体験について	国際協力推進員	長富邦恵
	1月24日	湖南中学校	中学2年生	46	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	国際協力推進員	長富邦恵 藤原佑子
	1月31日	湖南中学校	中学2年生	46	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	国際協力推進員	長富邦恵 藤原佑子
	2月26日	松江市立竹矢小学校	小学6年生	80	社会科学習:協力隊の体験談とJICA事業について	国際協力推進員	藤原佑子
	2月29日	奥出雲町立横田中学校	中学3年生	10	選択教科(英語)の授業:外国の事情について	国際協力推進員	藤原佑子
	3月7日	松江市立城北小学校	小学6年生	98	理科の単元「人と環境」:コストリカでの海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	藤原佑子
	3月21日	奥出雲町立横田中学校	中学2年生	22	選択教科(英語)の授業:外国の事情について	国際協力推進員	藤原佑子
岡山県	4月23日	川崎医療福祉大学	大学1年生	125	ボランティア入門	国際協力推進員	白築健
	4月27日	岡山市立西大寺中学校	中学1～3年生	690	海外ボランティア体験談(セネガル)	青年海外協力隊経験者	三嶋正喜
	5月1日	総社市立昭和中学校	中学生	100	海外ボランティア体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者	小林勉
	5月12日	倉敷東ライオンズクラブ(山陽ハイツ)	中小企業の代表	20	JICAボランティア事業について	国際協力推進員	武藤理恵
	5月13日	倉敷市国際交流協会(ライフパーク倉敷)	一般市民	20	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	池上勝治
	5月28日	岡山県立倉敷南高等学校	高校2・3年生(英語社会コース)	78	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	大久保理恵
	6月13日	岡山県立岡山操山高等学校	高校1年生	300	国際協力、国際貢献という視点から見た職業観	青年海外協力隊経験者	新田秀幸
	6月29日	岡山県立玉野高等学校	高校1年生	44	国際ボランティアについて	青年海外協力隊経験者	万代ユミ
	7月6日	倉敷高等学校	高校1年生	200	世界的な環境破壊について	青年海外協力隊経験者	明楽俊幸
	7月10日	岡山市立平福小学校	小学6年生	112	世界の子どもの暮らし、国際支援に取り組んでいる団体の活動について	国際協力推進員	武藤理恵
	7月17日	岡山市立西大寺中学校	中学1年生	200	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	明楽俊幸
	7月21日	和気町国際交流協会(和気町総合福祉センター)	一般市民	30	海外における日本語教育について	青年海外協力隊経験者	松本葉子
	7月28日	岡山県教育委員会岡山教育事務所生涯学習課(ゆめトピア長船)	備前地区幼・小・中PTA指導者	53	ワークショップ「国際人をめざして」	青年海外協力隊経験者	荻野見子
	9月15日	(財)岡山県国際交流協会(岡山国際交流センター)	国際貢献に関心のある県民	27	JICAの取り組みと青年海外協力隊経験者体験談	青年海外協力隊経験者 国際協力推進員	守屋元親 武藤理恵
	10月4日	岡山朝日高等学校	高校2年生	340	ホンジュラスでの海外ボランティア、ODAについて	青年海外協力隊経験者	柿本美佐
	10月23日	岡山県立岡山南高等学校	高校3年生(「食文化」選択生徒)	34	海外の食文化(食習慣、食事)について	青年海外協力隊経験者	小林勉
	10月27日	岡山県企画振興部国際課(天神山文化プラザ)	高校生	8	JICAの活動や協力隊の体験談(カンボジア研修参加者対象)	国際協力推進員	武藤理恵
	10月29日	岡山県立勝山高等学校	高校2年生	152	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者 国際協力推進員	木下史子 渡辺由美 武藤理恵
	11月4日	世界女性会議岡山連絡会(岡山国際交流センター)	一般市民	32	東アジア地域での女性たちの現状について	青年海外協力隊経験者	茶山雅津英
	11月7日	岡山県立総社南高等学校	高校2年生(国際系)	70	海外ボランティア体験談	日系社会青年ボランティア経験者	森谷裕実子
	11月7日	岡山県立岡山御津高等学校	高校1年生	162	外国の事情について(ラオス)	青年海外協力隊経験者	谷智仁
	11月12日	岡山大学保健学研究科(岡山大学津島キャンパス)	大学1年生	130	JICA事業概要、海外ボランティア体験談(国際協力を現地ですることの困難さや喜び)	国際協力推進員	武藤理恵
	11月22日	岡山市立芥子山小学校	小学4～6年生	35	世界の子どもの様子、外国の事情について(東南アジア・アフリカ)	青年海外協力隊経験者	小林麻衣子
	11月24日	岡山県企画振興部国際課(奥津ファームビレッジ耕心村)	高校生	15	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者 日系社会青年ボランティア経験者 国際協力推進員	塩飽康利 楢紗知子 原規子 武藤理恵
	12月1日	岡山県立岡山一宮高等学校	保護者	7	JICAの活動と国際理解教育について	青年海外協力隊経験者	木下史子

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
岡山県	12月5日	玉野市立玉小学校	小学4～6年生、保護者、教職員	98	人権教育事業の講演会：海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	塩飽康利
	12月7日	岡山県立岡山城東高校	高校2年生	44	海外実体験、ボランティア体験談	日系社会青年ボランティア経験者	森谷裕実子
	12月8日	岡山南ロータリークラブ(山陽新聞社さん太ホール)	一般希望者、ロータリークラブ会員、県内大学生	323	海外ボランティア体験談、外国の事情について(アフリカ)	青年海外協力隊経験者	藤本祐也
	12月11日	児島ロータリークラブ(せとうち児島ホテル)	会社経営者・医者など	28	JICAについて、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	小林麻衣子
	12月18日	岡山大学	大学1～4年生	40	海外ボランティアの体験談、JICA、ODA事業、外国(東欧諸国)について	JICA職員	辻野博司
	1月11日	倉敷市立南中学校	中学1年生	340	海外ボランティアの体験談、政府開発援助事業について	日系社会青年ボランティア経験者 青年海外協力隊経験者	森谷裕実子 小林麻衣子
	1月18日	津山市(津山市立東小学校)	小学6年生	58	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	藤原洋造
	2月3日	吉備中央国際化推進協会(ロマン高原かよう総合会館)	吉備中央国際化推進協会会員及び一般市民	70	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者	木下史子
	2月6日	岡山市立鹿田小学校	小学6年生	110	「地球環境と国際協力」：元青年海外協力隊員の海外ボランティア体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者	藤原洋造
	2月8日	岡山県立西大寺高等学校	高校1・2年生	85	開発教育の参加型アクティビティの実践、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	藤原洋造
	2月14日	岡山大学教育学部附属小学校	小学6年生	32	小学校社会科：職業と青年海外協力隊との兼ね合い、現在の心境について	青年海外協力隊経験者	木下史子
	2月28日	倉敷市立船穂小学校	小学6年生	88	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員 青年海外協力隊経験者	武藤理恵 村上朋子 小林麻衣子
	3月19日	岡山県立和気開谷高校	高校2年生	120	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	藤原洋造
広島県	5月20日	地球市民共育塾ひろしま(広島市まちづくり市民交流プラザ)	一般市民	25	チャドにできたスーダン難民キャンプについて	JICA職員	生井年緒
	6月1日	広島大学経済学部	大学1年生	18	海外ボランティア体験談	日系社会青年ボランティア経験者	奥田麻衣
	6月5日	広島市立祇園中学校	中学3年生、保護者	170	海外ボランティア体験談	国際協力推進員 青年海外協力隊経験者	白築健 友重直美 米澤みさお 大木健一
	6月13日	福山市立福山高等学校	高校2年生	215	総合学習「国際交流学習」：海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	友重直美
	6月27日	福山市立旭丘小学校	小学6年生	58	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	柿本美佐
	6月27日	呉市立広小学校	小学4年生	90	世界のゴミ事情、水事情	日系社会青年ボランティア経験者	奥田麻衣
	6月28日	広島女学院大学	大学2年生	25	「ボランティア論」国際ボランティアの現状	青年海外協力隊経験者	山崎優子
	7月5日	広島女学院大学	大学2年生	25	コスタリカでの青年海外協力隊活動について	国際協力推進員	井尚子
	7月6日	尾道市立長江中学校	中学1～3年生	29	総合的な学習「国際理解」での講話	青年海外協力隊経験者	柿本美佐
	7月13日	広島市立古市小学校	小学3年生	160	海外ボランティア体験談(ネパール)	青年海外協力隊経験者	友重直美
	8月25日	広島県立忠海高等学校	高校2年生	1	日本語教師の活動について	国際協力推進員	白築健
	9月11日	広島市立東原中学校	中学3年生	50	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	大久保理恵
	9月14日	広島市立牛田小学校	小学3年生	170	さまざまなものの見方、感じ方、行動の仕方について	青年海外協力隊経験者	小坂法美
	9月16日	地球市民共育塾ひろしま(広島平和文化センター)	一般市民	21	コスタリカでの青年海外協力隊活動について	国際協力推進員	井尚子
	9月18日	三原市立本郷中学校	中学3年生	100	任国の子ども達の生活や学校、教育状況について	日系社会青年ボランティア経験者	奥田麻衣
	9月22日	広島市可部公民館	一般市民(主に40～50歳代)	19	コスタリカについてのワークショップ	国際協力推進員	井尚子
	9月29日	広島市可部公民館	一般市民(主に40～50歳代)	17	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	鈴木知昇
	10月6日	広島市可部公民館	一般市民(主に40～50歳代)	17	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	羽熊広太
	10月10日	財団法人ひろしま国際センター(HIC) 広島修道大学 国際交流サークル「ICL」	大学生	37	国際理解ワークショップ、青年海外協力隊の体験談、JICA事業の概要	国際協力推進員	白築健
	10月10日	広島県立御調高等学校	高校1～3年生	183	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	山口真太郎
10月12日	広島市立翠町中学校	中学3年生	220	道徳学習：国際的な視野に立ち、世界の中の日本人としての活躍について	青年海外協力隊経験者	友重直美	

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
広島県	10月12日	福山市立松永中学校	中学1年生	108	中南米ホンジュラスでのエイズ対策事業	青年海外協力隊経験者	柿本美佐
	10月13日	広島市可部公民館	一般市民 (主に40~50歳代)	15	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	友重直美
	10月16日	財団法人ひろしま国際センター(HIC) 広島経済大学 国際交流サークル「Ciao」	大学生	16	国際理解ワークショップ、青年海外協力隊体験談、JICA事業の概要	国際協力推進員	白築健 井尚子
	10月17日	財団法人ひろしま国際センター(HIC) 広島市立大学 国際交流サークル「F.A.C」	大学生	26	国際理解ワークショップ、青年海外協力隊の体験談、JICA事業の概要	国際協力推進員	白築健
	10月18日	広島市立宇品中学校	中学3年生	213	国際協力・国際援助のあり方について	青年海外協力隊経験者	大木健一 山田恭子 山口真太郎 佐野隆史 望月拓馬 友重直美
	10月18日	財団法人ひろしま国際センター(HIC) 広島市立大学 国際交流サークル「IAHU」	大学生	28	国際理解ワークショップ、青年海外協力隊の体験談、JICA事業の概要	国際協力推進員	白築健
	10月19日	広島県立神辺高等学校	高校1年生	122	産業社会と人間：国際貢献・ボランティア講話「JICAの活動について」	JICA職員	澁谷和朗
	10月19日	日本女性会議2007ひろしま実行委員会 (広島国際会議場)	主として女性(成人)	160	JICAの事業について、海外ボランティア体験談	国際協力推進員	井尚子
	10月24日	財団法人ひろしま国際センター(HIC) 広島女学院大学 サークル「JAZZ BOSSANO」	大学生	22	国際理解ワークショップ、青年海外協力隊の体験談、JICA事業の概要	国際協力推進員	白築健
	10月26日	広島県立神辺高等学校	高校1年生	122	産業社会と人間：国際貢献・ボランティア講話「海外ボランティア体験談」	青年海外協力隊経験者	友重直美
	10月30日	財団法人ひろしま国際センター(HIC) 県立広島大学 国際交流サークル「辣椒」	大学生	21	国際理解ワークショップ、青年海外協力隊の体験談、JICA事業の概要	国際協力推進員	白築健 井尚子
	11月6日	広島市立清和中学校	中学3年生	22	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者	望月拓馬
	11月8日	広島井口高校	高校3年生	320	ODAと外国の事情について	青年海外協力隊経験者	友重直美
	11月12日	広島県立五日市高校	高校2年生	302	国際交流・国際貢献について	青年海外協力隊経験者	石井哲生
	11月14日	広島県立尾道東高等学校	高校1年生	80	テーマ「世界を舞台に活躍する」	JICA職員	澁谷和朗
	11月15日	広島県立賀茂高等学校	高校1年生 (総合学習外国国際系)	19	外国の事情について	国際協力推進員	白築健
	11月16日	広島県立庄原格致高等学校	高校1~2年生	345	海外ボランティア体験談	日系社会青年ボランティア経験者	奥田麻衣
	11月16日	広島市立祇園東中学校	中学3年生	160	総合学習「共に生きる平和な社会をめざして」：海外ボランティア体験	国際協力推進員	井尚子 白築健
	11月21日	広島県立芦品まなび学園高等学校	高校1~3年生	56	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	友重直美
	11月21日	広島県立熊野高等学校	高校2年生	183	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	山田恭子
	11月21日	広島市立城南中学校	中学3年生	230	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	中和悠
	11月22日	広島県立賀茂高等学校	高校1・2年生	600	国際理解行事：広い視野をもって前向きに生きていくための、キャリア教育の基礎となる話	青年海外協力隊経験者	山口真太郎
	11月22日	財団法人ひろしま国際センター	大学生	16	国際協力概論・国際理解ワークショップ	国際協力推進員	白築健
	11月25日	広島県立御調高等学校(尾道市立御調中学校)	高校1~3年生、 外国人留学生	111	「世界がもし100人の村だったら」ワークショップ	青年海外協力隊経験者	羽熊広太
	11月28日	広島県立廿日市西高等学校	高校1年生	27	海外ボランティア体験と、帰国後の仕事について	国際協力推進員	白築健
	11月29日	ノートルダム清心中学校	中学2年生	183	国際協力活動の体験談	青年海外協力隊経験者	前田貴子 奥田麻衣 大木健一 友重直美
	12月1日	広島県立賀茂高等学校PTA	生徒、教員、PTA会員	110	外国の事情について、海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	山口真太郎
	12月4日	広島市立久地南小学校	小学6年生	36	「世界がもし100人の村だったら」から世界の人々が置かれている現状について児童が調べたことの発表会	青年海外協力隊経験者	石井哲生
	12月6日	広島市立広島特別支援学校	高校1年生、教員	13	ガーナの太鼓演奏や民族衣装を通して、西アフリカを理解・体験する	青年海外協力隊経験者	羽熊広太
	12月6日	広島市立久地南小学校	小学6年生	71	「世界がもし100人の村だったら」から世界の人々が置かれている現状について児童が調べたことの発表会	青年海外協力隊経験者	石井哲生
	12月6日	財団法人ひろしま国際センター	大学生	16	国際協力概論・国際理解ワークショップ	国際協力推進員	白築健
	12月9日	坂町役場(坂町町民センター)	募集により参加の町民	35	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	望月拓馬

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
広島県	12月14日	広島市立安西小学校	小学5・6年生	163	JICAの活動、協力隊員の活動の様子について	国際協力推進員	白築健
	12月14日	東広島市立高美が丘小学校	小学6年生	173	海外ボランティア体験談、JICA事業、外国の事情について	青年海外協力隊経験者	望月拓馬
	12月18日	広島井口高等学校	高校1年生	37	テーマ「国際化社会」：海外ボランティア体験談と専門分野について	青年海外協力隊経験者	奥田麻衣
	1月7日	広島市立清和中学校	中学2年生	25	海外ボランティアの体験談、外国の事情について	青年海外協力隊経験者	寺川純
	1月8日	広島市立東原中学校	中学3年生	50	海外でのボランティア活動、JICA事業と外国の事情について	青年海外協力隊経験者	石井哲生
	1月10日	国際理解教育部会(広島県立大門高等学校)	高校1年生	325	海外における医療活動の経験談	青年海外協力隊経験者	柿本美佐
	1月11日	広島国際学院大学	工学部・情報学部2年生	130	学生が身に付ける技術が、いかに国際社会の諸問題(環境問題、発展途上国の技術支援)に寄与しうるか	青年海外協力隊経験者	川崎剛太郎
	1月16日	福山市立大谷小学校	小学3～6年生	155	海外ボランティア体験談、JICA事業と外国の事情について	青年海外協力隊経験者	福井陽子
	1月29日	広島市立吉島中学校	中学生	166	国際理解学習：海外ボランティア体験談、外国の事情とJICA事業について	青年海外協力隊経験者	奥田麻衣
	1月30日	三次市立川地中学校	中学生、教職員、保護者	54	「福祉教育」：グローバルに視野を広げるための海外ボランティア活動体験について	青年海外協力隊経験者	望月拓馬
	2月2日	安田女子高等学校	高校1年生	28	進路観育プログラム：国際貢献についての講話	日系社会青年ボランティア経験者	原規子
	2月5日	広島市立比治山小学校	小学6年生	99	社会科学習と国際理解及び国際協力の理解学習：青年海外協力隊経験談と開発途上国の様子について	青年海外協力隊経験者	石田雄太
	2月9日	地球っ子広場 ヒロシマ(黒瀬ビル)	幼稚園児～小学3・4年生、保護者	45	テーマ「国際感覚にあふれ平和を愛する子どもを育てる」：海外のボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	石井哲生
	2月13日	福山市立明玉台小学校	小学6年生	82	ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	白築健
	2月15日	呉市呉中央小学校	小学5・6年生	150	道徳の授業：海外ボランティアの体験談(アフリカ) 外国の事情について	青年海外協力隊経験者	望月拓馬
	2月17日	尾道市立国際交流推進協議会(尾道市立総合福祉センター)	一般市民	120	ホンジュラスの紹介と現地での活動について	青年海外協力隊経験者	柿本美佐
	2月20日	大竹市立大竹小学校	小学3年生、教員	130	「コスタリカの子ども達、コスタリカから見た日本」	国際協力推進員	井尚子
	2月20日	福山市立福山高等学校	高校1年生	173	ボランティア活動学習：「ボランティア活動を通じて自分の生き方を考える」	青年海外協力隊経験者	佐々木緑
	2月22日	(財)広島市ひと・まちネットワーク(広島市宇品公民館)	宇品地区の高齢者	120	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	寺川純
	2月24日	呉市国際交流協会(ビューポートくれ)	呉市国際交流協会会員、一般市民	14	協力隊員体験談とジンバブエの文化・慣習について	青年海外協力隊経験者	辻川尚輝
2月26日	三原市立大和中中学校	中学3年生	65	道徳の授業：国際社会を生きる能力を身に付け、何ができるかについて	青年海外協力隊経験者	石田雄大	
2月28日	庄原市立粟田小学校	小学1～6年生、職員	25	海外ボランティアの体験談、JICA事業と外国の事情について	青年海外協力隊経験者	中和悠 河野留美子 石田雄大	
2月29日	中条学区まちづくり推進委員会(福山市中条公民館)	中条学区内の人々	60	海外ボランティアの体験談、JICAと外国の事情について	青年海外協力隊経験者	佐々木緑	
山口県	4月11日	山口大学・山口県立大学ユネスコクラブ(山口大学学生会館)	学部生	20	途上国と日本のつながり、日本において途上国の人たちのためにできること	国際協力推進員	鈴木博子
	4月18日	栄養士ネットワークばこばこ(白石公民館)	栄養士	15	アフリカ料理を作る、海外ボランティア体験談(セネガル)	国際協力推進員	鈴木博子
	5月9日	下関市立文洋中学校	中学1～3年生	45	開発教育の参加型アクティビティの実践	青年海外協力隊経験者	高見早苗
	5月22日	山口県立大学	国際文化学部2～4年生	90	「アフリカ文化特講」セネガルにおける異文化との出会いと、JICAの役割について	国際協力推進員	鈴木博子
	6月6日	日本国際連合協会山口県本部(山口県国際交流協会)	会員	25	地域における国際理解と協力	国際協力推進員	鈴木博子
	6月8日	山口県私立中学高等学校PTA連合会(ホテルみやげ)	山口県内私立中高PTA役員	43	国際協力について	国際協力推進員	鈴木博子
	6月15日	山口県立大学	大学1年生(社会福祉学部、国際文化学部)	55	海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	鈴木博子
	6月20日	山口県ユネスコ女性連絡協議会(山口県庁)	山口県ユネスコ女性連絡協議会会員	14	国際貢献について	国際協力推進員	鈴木博子

(前項に続く)

県名	実施日	派遣依頼団体()内は会場	講演対象者	参加人数	講演内容	講師区分	講師名
山口県	6月21日	岩国市教育委員会事務局周東支所生涯学習課(岩国市立祖生東小学校)	小中および保育園教職員、公民館職員、保護者、地区人権教育推進協議会会長	26	地域から見た人権、世界から見た人権	国際協力推進員	鈴木博子
	6月26日	山口県立大学	国際文化学部2~4年生	90	「アフリカ文化特講」西アフリカ(ニジェール)の生活実態	青年海外協力隊経験者	田中貴子
	6月27日	和木町人権教育推進協議会(和木町文化会館講習室)	各種団体代表、町役場職員	25	国際理解に関わる人権問題	国際協力推進員	鈴木博子
	7月13日	下関ユネスコ協会	小学4~6年生	85	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	亀田崇路
	8月4日	「小さな親切」運動岩国支部(山口銀行岩国支店)	一般市民	110	セネガルの郷土料理教室、アフリカの暮らしについて	国際協力推進員	鈴木博子
	8月6日	山口県高等学校青少年赤十字東部地区協議会(山口県ふれあいパーク)	高校1~3年生	58	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	水野雅子
	8月24日	するーふーどらいふ山口ネット・和(するーふーど交流の家・母屋)	4才~小学4年生、保護者	29	アフリカの料理を通しての海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
	9月8日	宇部・ときわ湖畔コース・ホステル	小学生および一般市民	17	途上国の食生活と日本の生活環境について	国際協力推進員	鈴木博子
	9月13日	山口県地域振興部国際課(山陽小野田市立小野田小学校)	小学生・教職員	61	海外での仕事経験談	青年海外協力隊経験者	島崎友紀
	9月14日	山口県地域振興部国際課(防府市立桑山中学校)	全校生徒	730	海外での仕事経験談	青年海外協力隊経験者	黒田絵美
	10月5日	山口県立西京高等学校	高校1年生	20	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	鈴木博子
	10月15日	山口県地域振興部国際課(山口市立秋穂中学校)	中学生、教職員	225	海外での仕事経験について	青年海外協力隊経験者	江村香
	10月17日	山口県立厚狭高等学校	高校1年生	225	世界の所得格差の問題と、インドネシアの現状について	青年海外協力隊経験者	水野雅子
	10月21日	長穂公民館	小学生~一般市民	16	他国の料理を作る(ネパール)	青年海外協力隊経験者	部坂和代
	10月22日	山口県立大学	大学1~4年生(国際文化学部)	160	海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	水野雅子
	10月22日	山口大学 農学部	農学部2年生	53	農業が果たす国際協力の意義、食糧確保の重要性、世界の農業について	専門家経験者(農林水産省中国四国農政局)	田尻照久
	10月31日	山口県立日置農業高等学校	高校1年生	66	様々な価値観とモラルについて	国際協力推進員	鈴木博子
	11月6日	萩地区安全運転管理者協議会(萩本陣)	事業主及び安全運転管理者	56	JICAとODA事業について、海外ボランティアの体験談	国際協力推進員	鈴木博子
	11月9日	宇部地区安全運転管理者協議会(国際ホテル宇部)	事業所、事業主又は管理者	100	海外ボランティアの体験談	青年海外協力隊経験者	部坂和代
	11月9日	山口県地域振興部国際課(平生町立平生中学校)	中学3年生	114	海外での仕事経験について	青年海外協力隊経験者	三原善伸
	11月13日	山口県立華陵高等学校	高校1~3年生	380	「世界の中の日本」高校生にも出来る身近な国際協力について	国際協力推進員	鈴木博子
	11月14日	光市立大和中学校	中学1~3年生、保護者	290	「人権教育講演会」:海外ボランティア体験談	青年海外協力隊経験者	石井哲生
	11月22日	山口市立白石中学校	生徒・保護者・教職員	350	外国の事情について(セネガル)	国際協力推進員	鈴木博子
	11月23日	山口から世界を考える高校生(仲間海峡メッセ内グローバルサロン)	高校1・2年生	7	海外ボランティアの体験談と赴任国の様子について	青年海外協力隊経験者	田中香
	11月26日	白石公民館	一般市民	8	セネガルの郷土料理教室	国際協力推進員	鈴木博子
	11月30日	山口県地域振興部国際課(山口県立田部高等学校)	高校生	85	海外での仕事経験について	青年海外協力隊経験者	村田真一
	12月6日	山口市立大内小学校	小学6年生	111	青年海外協力隊の活動内容紹介、ワークショップ「世界がもし113人の村だったら」	国際協力推進員	鈴木博子
	1月30日	山口大学教育学部附属山口中学校	中学1年生	166	心豊かな「生き方」についての学習:世界の現状とその厳しさに立ち向かう人の生き方について	国際協力推進員	鈴木博子
	2月2日	光市立周防公民館	一般市民	35	人権教育講座:海外ボランティア体験談とJICA事業についての講話	国際協力推進員	鈴木博子
	2月21日	周南市立長穂小学校	小学5・6年生、保護者	40	授業参観:外国の子育て、しつけ、外国での見聞、体験について	青年海外協力隊経験者	森田史子
	2月26日	山口市立阿知須小学校	小学5年生	74	海外ボランティア体験談	国際協力推進員	水野雅子 鈴木博子
	3月2日	世界青年徳山友の会(中国電力(株)下松発電所ふれあいホール)	一般市民	70	海外ボランティアの体験談、JICAと外国の事情について	国際協力推進員	水野雅子
	3月7日	宇部環境国際協力協会宇部市(宇部市文化会館)	会員(企業従業員、市役所職員、市民)	50	「第2回環境国際セミナー」:協力隊として国際協力活動(インドネシア・アルゼンチン)に参加した環境分野の体験談と途上国の環境問題の現状について	国際協力推進員 青年海外協力隊経験者	水野雅子 川口博行

平成19年度 JICA中国施設見学受入実績

訪問総件数： 29件
訪問者総数：1,128名

実施日	県名	訪問団体	訪問者	訪問者数	内容
4月10日	広島県	東広島社会福祉協議会 宇山西:南サロン	サロン参加メンバー	22	JICA事業紹介、ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」
4月20日	広島県	福山市立福山中学校	中学3年生	125	JICA事業紹介、海外ボランティア体験談、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」
5月24日	広島県	広島大学	広島大学新規採用職員	38	JICA事業紹介、施設見学
5月31日	広島県	尾道市立生口中学校	中学2年生	17	JICA事業紹介、施設見学、海外ボランティア体験談、ワークショップ「世界がもし16人の村だったら」
6月6日	広島県	広島大学大学院生物圏科学研究科	生物生産学部1年生	25	JICA事業紹介、ODA事業について、海外ボランティア体験談、施設見学
6月15日	広島県	東広島市社会福祉協議会 (ふれあい下河内10日会)	高齢者	22	JICA事業紹介、ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」
6月21日	広島県	三原市立幸崎中学校	中学3年生	32	JICA事業紹介、施設見学、ワークショップ「フォトランゲージ」
6月29日	広島県	吉行地域社会福祉協議会	高齢者	24	JICA事業紹介、施設見学、ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」
6月29日	広島県	広島大学留学生センター	短期交換留学生	6	JICA事業紹介、施設見学
7月26日	広島県	広島大学大学院教育学研究科	大学院博士課程 前期1年生	17	JICA事業紹介、ODA事業について
8月22日	岡山県	倉敷市国際交流協会	小中高生および その保護者	39	JICA事業紹介、施設見学、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」、研修員との交流
8月31日	広島県	広島県立井口高等学校	高校2年生	98	JICA事業紹介、海外ボランティア体験談、施設見学、ワークショップ「世界がもし94人の村だったら」
9月14日	広島県	広島県立黒瀬特別支援学校	高等部1年生	27	施設見学、民族衣装・楽器体験、ワークショップ「世界がもし25人の村だったら」
9月26日	広島県	東広島市立原小学校	小学1・2年生	56	施設見学、民族衣装・楽器体験
9月27日	広島県	三原市立本郷中学校	中学3年生	113	JICA事業紹介、ワークショップ「世界がもし100人の村だったら」
9月28日	広島県	東広島熟年大学(東広島社会福祉協議会)	高齢者	26	JICA事業紹介、施設見学
10月5日	広島県	三次市立田幸小学校	小学5年生	16	JICA事業紹介、海外ボランティア体験談、施設見学
10月12日	広島県	安芸高田市立甲田中学校	中学1年生	53	ボランティア体験談、ワークショップ、施設見学、民族衣装や民族楽器の体験、JICA事業紹介
10月19日	広島県	福山市立松永中学校	中学1年生	111	JICA事業紹介、施設見学、ワークショップ「世界がもし107人の村だったら」
11月9日	広島県	広島県立広島高等学校	高校1年生	45	JICA事業紹介、施設見学、ODA事業について、民族衣装や民族楽器の体験、JICAボランティアの体験談
11月16日	広島県	庄原市立比和中学校	中学1～3年生	54	JICAボランティアの体験談
11月20日	広島県	東広島市立御園宇小学校	小学生	9	施設見学、ビデオを利用した海外紹介
11月29日	茨城県	筑波大学世界銀行奨学金プログラム	大学院1年生	18	JICA事業紹介、ODA事業について、施設見学
11月30日	広島県	慈学院 太光寺	カンボジア僧侶	10	JICA事業紹介、施設見学
12月1日	岡山県	(財)ラボ国際交流センター	幼児～高校生	30	国名書きクイズ・施設見学・民族衣装・楽器体験
2月14日	広島県	東広島社会福祉協議会 まなびサロン	ボランティア、職員	20	JICAボランティアの体験談、施設見学(民族衣装体験)
2月21日	広島県	安芸高田市立美土里中学校	中学3年生	29	JICA事業紹介、協力隊員体験談、施設見学、ワークショップ「欲しいもの必要なもの」
3月5日	広島県	広島市立吉島小学校	小学6年生	53	JICAボランティアの体験談
3月9日	広島県	JICA国際協力中学生・高校生エッセイ コンテスト2007入賞者	エッセイコンテスト 入賞者及び保護者	12	施設見学、ワークショップ「セネガルのファールさんの暮らし」

平成19年度 教師海外研修実績

応募者：17名
派遣教師：12名

国内事前研修	海外研修期間	国内事後研修	派遣国	氏名	都道府県名	学校名
第1回 5/26～27 第2回 6/16～17	7/28～8/11	第1回 9/29～30	ガーナ (12名)	河毛 樹	広島県	広島市立広島特別支援学校
				田中 紀子	山口県	山口市立大歳小学校
				西野 美鳥	広島県	福山市立泉小学校
				木村 美保	広島県	広島大学附属東雲中学校
				森 泰三	岡山県	岡山県立岡山一宮高等学校
				古都 匠子	鳥取県	米子市立弓ヶ浜小学校
		第2回 1/26		村木 啓司	山口県	下関市立江浦小学校
		安部 一実		島根県	島根県立松江商業高校	
		重森美由姫		広島県	広島市立宇品中学校	
		黒明堅一郎		岡山県	倉敷市立玉島北中学校	
		山崎知代子		鳥取県	鳥取県立鳥取聾学校	
		祝迫 直子		広島県	広島県立高宮高等学校	

平成19年度 国際理解教育研修会

会場：ひろしま国際プラザ

後援：鳥取県教育委員会、島根県教育委員会、岡山県教育委員会、広島県教育委員会、
山口県教育委員会、広島市教育委員会

国際理解教育研修会（第1回）

テーマ：体験してみよう!参加型学習

実施日：平成19年5月26日（土）

参加者：39名（鳥取県3名、島根県3名、岡山県7名、広島県18名、山口県8名）

【プログラム】

時 間	内 容
11:45~12:30	受付
12:30~12:40	開会 JICA中国所長挨拶 JICA中国所長 生井 年緒
12:40~12:45	プログラム説明・スタッフ紹介
12:45~14:45	開発教育・国際理解教育の視点 講師：(特活)国際理解教育センター 山中 令子
14:45~14:55	休憩・移動
14:55~15:40	参加型学習体験 ~小学校コース~ 「H18教師海外研修参加教員による授業実践」 講師：広島市立 基町小学校 岡上 美紀 アドバイザー：(社)青年海外協力協会 長谷川雅之
	参加型学習体験 ~中・高等学校コース~ 「H18教師海外研修参加教員による授業実践」 講師：広島県立 祇園北高等学校 嶺川 幸人 アドバイザー：(特活)国際理解教育センター 山中 令子
15:40~15:50	休憩・移動
15:50~16:20	振り返りディスカッション~小学校コース~ 「みんなのアイデア! 参加型の取り組み」 講師：(社)青年海外協力協会 長谷川雅之
	振り返りディスカッション ~中・高等学校コース~ 「みんなのアイデア! 参加型の取り組み」 講師：(特活)国際理解教育センター 山中 令子
16:20~16:30	案内 「とことん活用! JICA中国開発教育支援事業」 JICA中国業務第2チーム 澁谷 和朗
16:30	閉会・アンケート記入

国際理解教育研修会（第2回）

テーマ：作ってみよう!国際理解教育授業プラン

実施日：平成19年9月29日（土）～9月30日（日）

参加者32名（鳥取県4名、島根県3名、岡山県5名、広島県16名、山口県4名）

【プログラム】

1日目

時間	内容
12:15～13:00	受付
13:00～13:10	開会の挨拶・研修の目的 JICA中国業務第2チーム長 辻野 博司
13:10～16:00	参加型学習体験 写真や具体物を活用した15分でできる参加型学習方法を紹介します。それをどのように活かし、授業に取り組むのか。流れのあるプログラム展開を体験しながら、楽しく学んでいきましょう。 (社)青年海外協力協会 長谷川雅之
16:00～16:15	休憩
16:15～16:55	JICA中国 開発教育支援事業「教師海外研修報告」 JICA中国は、今年夏、中国地方在住の教員12名をガーナに派遣しました。JICA教師海外研修の概要や研修の報告をします。 JICA 教師海外研修・・・小学校・中学校・高等学校・盲・聾・養護学校の先生方が開発途上国における国際協力や教育の現場を視察する海外研修旅行。 JICA中国業務第2チーム職員 澁谷 和朗 (社)青年海外協力協会 長谷川雅之
16:55～17:30	演習準備・作業説明 教師海外研修参加教員が持ち帰った体験・素材を教材として、「授業案」を作成します。まずは、教師海外研修参加教員の「体験・素材」紹介とともに、教材作成に必要な基礎知識、テーマ選定のための意見交換を行い、翌日からの指導案づくりの準備をしましょう。 (社)青年海外協力協会 長谷川雅之
18:00～20:00	懇親会

2日目

時間	内容
9:00～12:00	作ってみよう!～国際理解教育の授業プラン～ 国際理解教育の指導案づくりの留意点は?テーマは?まずは指導案づくりのポイントを解説。その後、テーマを整理・決定し、教師海外研修の素材をもとに、指導案を作成しましょう。 (社)青年海外協力協会 長谷川雅之
12:00～13:00	昼食
13:00～14:00	模擬授業実演・指導案再検討 作成したプログラムを他のグループに発表してみよう。他者の視点から、問いかけの言葉や実践可能なプログラムとなっているのかを検証し、指導案を再検討しましょう。 (社)青年海外協力協会 長谷川雅之
14:00～14:10	休憩
14:10～15:10	発表「アクティビティ実演」 完成した指導案を発表します。全員がファシリテーターとなり、他のグループに発表しましょう。 (社)青年海外協力協会 長谷川雅之
15:10～15:20	総括・まとめ JICA中国業務第2チーム職員 澁谷 和朗
15:20～15:30	閉会・アンケート記入

国際理解教育研修会（第3回）

テーマ：聞いてみよう!学校現場での様々な取り組み

実施日：平成20年1月26日（土）

参加者：36名（鳥取県4名、島根県1名、岡山県3名、広島県19名、山口県9名）

【プログラム】

時間	内 容
12:00～12:30	受付
12:30～12:40	開会の挨拶 JICA中国業務第2チーム長 辻野 博司
12:40～13:00	アイスブレイキング (社)青年海外協力協会 長谷川雅之
13:00～14:15	教師海外研修参加教員による授業実践報告 平成19年度教師海外研修参加教員9名
14:15～14:30	休憩
14:30～16:10	子どもの心をくすぐる授業へのヒント (社)青年海外協力協会 長谷川雅之
16:10～16:25	JICA中国開発教育支援事業とは? JICA中国業務第2チーム 澁谷 和朗
16:25～16:30	閉会の挨拶

平成19年度 教育行政及び教員組織との連携実績

県名	連携先	実施時期	主な連携内容
鳥取県	鳥取県教育委員会		「開発教育支援事業の案内」配付協力・事業後援名義取得、国際理解教育研修会（8月、現職教員参加制度帰国報告含む）への後援名義取得及び報告会出席
	鳥取県海外子女教育・国際理解教育研究協議会	7月28日	国際理解教育研究会（28名参加）の共催
	境港市教育委員会生涯学習課	2月8日	青少年育成関係者対象の講演会（80名参加）への講師派遣
島根県	島根県教育委員会		「開発教育支援事業の案内」配付協力・事業後援名義取得
	島根県国際理解教育研究会	8月20日	夏季研修会（30名参加）の共催
岡山県	岡山県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	岡山県立総合教育センター	8月24日	高等学校初任者研修（10名参加）への講師派遣
	国際理解教育研究会	11月27日	研究大会（80名参加）への講師派遣
	岡山県教育委員会岡山教育事務所生涯学習課	7月28日	人権教育研修会（53名参加）への講師派遣
広島県	広島県教育委員会		「開発教育支援事業の案内」配付協力・事業後援名義取得、青年海外協力隊現職参加教員報告会への後援名義取得及び報告会出席
	広島県立教育センター	8月23 - 24日	国際理解教育講座（2日間：39名参加）への協力・講師派遣
	広島市教育委員会		「開発教育支援事業の案内」配付協力・事業後援名義取得
	広島市教育センター		国際理解教育講座での資料配付
	福山市教育委員会	7月30日	国際理解教育講座（40名参加）へのワークショップ講師派遣
	広島県高等学校教育研究会国際理解教育部会	10月19日	研究大会（20名参加）へのワークショップ講師派遣
	熊野町教育研究協議会	8月8日	国際理解部会（19名参加）への講師派遣
国際理解教育研究会	8月10日	国際理解ガイダンス（40名参加）でのJICA紹介展示	
山口県	山口県教育委員会		開発教育支援事業にかかる後援名義取得
	下関市教育委員会	1月29日	国際理解教育講座（22名参加）での情報提供
	岩国市教育委員会周東支所生涯学習課	6月21日	人権教育研修会（26名参加）への講師派遣
	周防大島町教育委員会	7月24日	国際理解教育研修会（25名参加）への講師派遣
	山口県国際理解教育研究会	8月20日	研究大会（60名参加）の共催

平成19年度 研修員の学校訪問実績

訪問研修員総数 66名

訪問日	訪問校	参加生徒数	時間	研修員数	研修員国籍	訪問した研修コース名
5月25日	東広島市立御園宇小学校	290名 (全校生徒)	9:30 12:45	12	バングラデシュ、ドミニカ共和国、イラク、メキシコ、フィリピン、セントルシア、スリランカ、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、トルコ、中華人民共和国	廃棄物管理総合技術、 四川省環境対策
5月25日	広島市立三田小学校	186名 (全校生徒)	10:15 13:30	10	アルメニア、バングラデシュ、インドネシア、モンゴル、パキスタン、スリランカ、シリア、ウズベキスタン、ベトナム	ガスタービン・蒸気タービン(石炭)火力発電
7月6日	岡山県立玉野高等学校	41名 (国際科1学年)	10:50 13:40	9	イラク、ヨルダン、オマーン、パレスチナ、サウジアラビア、シリア	中東地域上水道維持管理
7月13日	岡山市立石井小学校	261名 (全校生徒)	10:30 14:00	10	カンボジア、中華人民共和国、エチオピア、ホンジュラス、ケニア、ペルー、タンザニア、タイ、東ティモール	乾燥地水資源の開発と環境評価
9月14日	広島県立広高等学校	37名 (国際文理 コース1学年)	13:20 15:10	7	カンボジア、インド、ケニア、マダガスカル、中華人民共和国、ミャンマー、ベトナム	養殖魚の健康と安全管理
1月18日	広島市立安西小学校	156名 (5・6学年)	10:30 14:30	6	カンボジア、中華人民共和国、ラオス、フィリピン	食品加工・保全技術
1月24日	三原市立幸崎中学校	85名 (全校生徒)	13:15 16:00	12	レソト、マラウイ、モーリシャス、スワジランド、ザンビア、ジンバブエ、ガーナ	南部アフリカ中小企業育成、 ガーナ中小企業育成促進

平成19年度 高校生国際協力体験プログラム

(1) 参加校

実施日：平成19年8月16日(木)～平成19年8月18日(土)

会場：ひろしま国際プラザ

共催：(財)ひろしま国際センター

学 校 数 16校

参加生徒数 50名

県名	学校名	引率教諭	参加生徒	
			学年	人数
鳥取	鳥取県立鳥取商業高等学校	赤 木 綾 香	2	4
島根	島根県立松江工業高等学校	尾 原 美 香	3	1
岡山	岡山県立総社南高等学校	山 口 勝 之	3	4
広島	私立広島女学院高等学校	高 見 知 伸	1・2	4
	広島県立戸手高等学校	平 田 俊 彦	1・2	2
	私立広陵高等学校	竹 本 淳 一	1・2	3
	福山市立福山高等学校	藤 田 憲 弘	1	2
	私立武田中学校・高等学校	Ashley Souther	2	2
山口	私立誠英高等学校	坂 元 紘 子	2	4
	山口県立厚狭高等学校	山 岸 典 子	1・2	4
	山口県立下関南高等学校	戸 倉 信 之	2	3
高知	高知県立高知丸の内高等学校	安 藤 千 速	3	3
	高知県立高知南高等学校	嶋 崎 京 都	3	4
	私立高知中央高等学校	杉 尾 智 子	2	4
徳島	徳島県立城西高等学校	西 條 玉 恵	2	2
愛媛	私立済美高等学校	河 村 晴 樹	1・2	4

(2) プログラムスケジュール

第1日目：8月16日

時間	場所	内容
12:30~13:30	エントランスホール	受付
13:30~13:45	体育館	開会 主催者あいさつ JICA中国 所長 生井 年緒 (財)ひろしま国際センター 常務理事 土居 淑子
13:45~14:00	体育館	プログラム説明 JICA中国 澁谷 和朗
14:00~15:40	体育館	(ワークショップ1) はじまるぞ! 国際協力体験プログラム これから始まる2泊3日のプログラム。まずは自己紹介と仲間作りから。 世界がもし71人の村だったら... もしも世界が71人の村だったら...どんな言葉をお話してるの? どんなところで暮らしているの? 地球で暮らす様々な人々と、わたしたち日本人について、もっとよく知ってみよう! ファシリテーター: 青年海外協力隊経験者 小坂 法美 (社)青年海外協力協会 細川 光宣 (社)青年海外協力協会 大野 登世
15:40~16:00		休憩
16:00~16:50	体育館	(おはなし1) 知ってる? 青年海外協力隊 JICAってどんなことをやってるの? よく聞く青年海外協力隊って? JICA事業のひとつである青年海外協力隊について紹介します。 JICA中国 澁谷 和朗、山崎 優子
16:50~18:30	体育館	(おはなし2) のぞいてみよう! 青年海外協力隊 青年海外協力隊の活動とは? 何をやっているの? どんな生活をしているの? 隊員活動の思い出、帰国してから思うこと、バラエティあふれる隊員活動。熱い思いを胸に活躍する協力隊の魅力を見てみよう。 1. 渡辺 由美 保育士 スリランカ 2. 武藤 理恵 日本語教師 ブルガリア 3. 井 尚子 観光業 コスタリカ 4. 鈴木 博子 野菜栽培 セネガル 5. 松尾 泰輔 村落開発普及員 ボリビア 司会: 青年海外協力隊経験者 小坂 法美
18:30~19:00		チェックイン
19:00~20:00	食堂	夕食(バイキング)

第2日目：8月17日

時間	場所	内容
9:00~10:00	体育館	(ワークショップ2) 挑戦! 青年海外協力隊 「ネパール・パラシ」 さあ、あなたも青年海外協力隊の一員となって活動をはじめましょう! 自分にできることは? 1人ではできないことも、力を合わせれば解決の糸口が見つかるかも...みんなで話し合っただけで活動プランができたならグループ毎に発表だ。他のグループの活動は...? 正解はありません。いろんな見方、感じ方。みんなで考えてみましょう。 事例提供者: 青年海外協力隊経験者 友重 直美 司会: 青年海外協力隊経験者 小坂 法美 (社)青年海外協力協会 大野 登世

時間	場所	内容
10:00~10:10		移動・休憩
10:10~12:00	306 研修室 セミナールーム1,2	挑戦！青年海外協力隊 「ネパール・パラシ」 A B C D E グループ ファシリテーター：青年海外協力隊経験者 小坂 法美 F G H I J グループ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 大野 登世
12:00~13:00	食堂	昼食
13:00~14:40	306 研修室 セミナールーム1,2	挑戦！青年海外協力隊 「ネパール・パラシ」 A B C D E グループ ファシリテーター：青年海外協力隊経験者 小坂 法美 F G H I J グループ ファシリテーター：(社)青年海外協力協会 大野 登世
14:40~16:00	体育館	挑戦！青年海外協力隊 「ネパール・パラシ」 事例提供者：青年海外協力隊経験者 友重 直美 司会：(社)青年海外協力協会 細川 光宜
16:00~16:30		移動・休憩
16:30~18:30	体育館	JICA研修員との交流 各班に分かれ、研修員との交流の時間。交流は言葉じゃないぞ、ハートだぞ。積極的に研修員にアタックしよう！ 司会：青年海外協力隊経験者 小坂 法美 (社)青年海外協力協会 大野 登世
18:30~19:00		移動・休憩
19:00~21:00	食堂	懇親会 JICA研修員、JICA職員、青年海外協力隊との懇親会。 交流の時間の成果発表の場でもあります。また、参加者の一芸披露も大歓迎！ 昨年は、空手の演舞、阿波踊りなど参加者の工夫を凝らした出し物がありました。JICA研修員も皆さんにつられて、自国の踊りや歌声を披露。懇親会は皆さんが創るもの。浴衣や工夫を凝らした衣装での参加も大歓迎です。 司会：青年海外協力隊経験者 小坂 法美 (社)青年海外協力協会 大野 登世

第3日目：8月18日

時間	場所	内容
8:30~9:30	体育館	(おはなし3) 聞いてみよう！ 今、自分たちにできること 「挑戦！青年海外協力隊」で考えた活動プラン。それは本当に実践可能？青年海外協力隊になれない今、プランにそって自分たちにできることはあるのか？日本にいながら国際協力にかかわる同世代の人や、仕事として国際協力に携わる人のお話。いろいろな人の「自分たちにできること」を聞いてみよう！ 1. 服部 淳子 日本国際協力センター 2. 橋本 圭史 広島経済大学 3. 私立広島女学院高等学校
9:30~9:40		休 憩
9:40~11:50	体育館	(ワークショップ3) 決めた！これからの自分 1日目、2日目のプログラムの中で学んだこと、感じたことをふり振り返りながら、これから自分たちにできることは何かみんなで考えてみましょう。グループで意見をまとめたら発表です。他の参加者は何を感じ、学んだのでしょうか。参加者みんなで、2泊3日で学んだことを共有しよう！ ファシリテーター：青年海外協力隊経験者 小坂 法美 (社)青年海外協力協会 大野 登世
11:50~12:05	体育館	閉会あいさつ・事務連絡
12:05~12:35	体育館	解散

平成19年度 高校生エッセイコンテスト応募実績と入賞者

(募集期間：平成19年6月8日～9月12日)

国内機関長賞

福山暁の星女子高等学校 2年 有馬 江見梨 「これなあに？」

入選

鳥取県立米子西高等学校 2年 油村 友香 「ノープレス・オブリージュの精神」

広島女学院高等学校 2年 黒山 さくら 「今ここでできること」

岡山県立岡山南高等学校 2年 中原 理恵 「私のランドセルが海外へ」

広島工業大学附属広島高等学校 2年 坂本 彩夏 「一人の笑顔で広がる世界」

JOCA会長賞

盈進学園盈進高等学校 2年 河村 早紀 「物があるなら幸せなのか」

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数	
鳥取県 (1校)	鳥取県立鳥取商業高等学校	4	広島県 (14校)	広島女学院高等学校	3	
	個人応募	1		広島県立広島西特別支援学校	2	
鳥取県合計		5		広島県立戸手高等学校	2	
島根県	個人応募	1		福山市立福山高等学校	2	
	島根県合計			1	広陵高等学校	1
岡山県 (2校)	岡山県立岡山南高等学校	69		個人応募	5	
	岡山県立総社南高等学校	62		広島県合計		444
	個人応募	5		山口県 (4校)	山口県立熊毛南高等学校	33
岡山県合計		136			三田尻学園誠英高等学校	6
広島県	盈進学園盈進高等学校	257			山口県立下関南高等学校	3
	広島県立安芸府中高等学校	65			山口県立厚狭高等学校	3
	広島県立広高等学校	44			個人応募	2
	広島学院高等学校	28		山口県合計		47
	呉武田学園武田高等学校	12		中国5県合計(21校)		633
	広島文教女子大学附属高等学校	8	全国 応募 作品 総数	17,020		
	福山暁の星女子高等学校	7				
	広島県立呉三津田高等学校	4				
	比治山女子高等学校	4				

平成19年度 中学生エッセイコンテスト応募実績と入賞者

(募集期間：平成19年6月8日～9月12日)

審査員特別賞

広島学院中学校 1年 桑田 健壮 「ぼくにできるボランティア」

入選

岡山市立西大寺中学校 1年 青江 眞実 「ランドセルは海をこえて」
 防府市立桑山中学校 1年 石田 桃子 「You're sure, you can!」
 広島県立広島中学校 3年 平田 桃子 「問い直す幸せの形」
 呉武田学園武田中学校 1年 三山 まりこ 「私にできる小さな第一歩」
 比治山女子中学校 3年 房尾 昭江 「世界が幸せになるために」
 岡山市立岡北中学校 3年 井上 瑞菜 「私にできること」
 瀬戸内市立牛窓中学校 3年 岡本 薫 「幸福への旅立ち」

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数
鳥取県 (4校)	鳥取市立福部中学校	91	岡山県	倉敷市立児島中学校	1
	鳥取大学附属中学校	5		個人応募	4
	倉吉市立西中学校	4	岡山県合計		751
	米子市立弓ヶ浜中学校	2	広島県 (39校)	呉市立昭和中学校	310
	個人応募	1		広島市立宇品中学校	170
鳥取県合計		103		広島市立亀山中学校	119
島根県 (6校)	益田市立高津中学校	123		山陽女学園中等部	59
	安来市立伯太中学校	39		東広島市立八本松中学校	56
	島根大学教育学部附属中学校	12		竹原市立忠海中学校	55
	益田市立中西中学校	1		呉市立両城中学校	51
	仁摩中学校	1		広島学院中学校	49
	浜田市立第四中学校	1		三原市立大和中学校	44
島根県合計		177		A I C J 中学校	41
岡山県 (18校)	岡山市立西大寺中学校	178		大竹市立大竹中学校	35
	岡山市立興除中学校	170		福山暁の星女子中学校	28
	金光学園中学校	98		府中町立府中中学校	27
	津山市立津山西中学校	80		呉市立白岳中学校	23
	玉野市立宇野中学校	75		広島市立祇園中学校	17
	備前市立備前中学校	32		比治山女子中学校	17
	岡山市立京山中学校	29		廿日市市立吉和中学校	16
	岡山市立岡北中学校	28		尾道市立生口中学校	16
	総社市立昭和中学校	12	広島市立三入中学校	15	
	高梁市立高梁中学校	9	広島市立口田中学校	12	
	倉敷市立連島南中学校	9	広島市立庚午中学校	10	
	倉敷市立琴浦中学校	8	福山市立城西中学校	9	
	倉敷市立庄中学校	7	府中市立第二中学校	9	
	瀬戸内市立邑久中学校	4	福山市立東中学校	8	
	倉敷市立玉島東中学校	4	廿日市市阿品台中学校	8	
	瀬戸内市立牛窓中学校	2	呉市立片山中学校	7	
	倉敷市立福田中学校	1	東広島市立磯松中学校	7	

県名	学校名	応募数	県名	学校名	応募数
広島県	呉武田学園武田中学校	7	山口県	光市立室積中学校	19
	広島市立似島中学校	6		秋芳市立秋芳南中学校	19
	三次市立塩町中学校	5		山陽小野田市立小野田中学校	18
	呉市立中央中学校	5		下関市立吉見中学校	9
	江田島市立切串中学校	5		長門市立向津具中学校	8
	広島市立美鈴が丘中学校	2		下関市立日新中学校	6
	広島市立砂谷中学校	2		下関市立長成中学校	4
	竹原市立竹原中学校	1		下関市立勝山中学校	3
	世羅町立甲山中学校	1		周防大島町立日良居中学校	3
	安芸太田町立筒賀中学校	1		岩国市立美川中学校	2
	福山市立山野中学校	1		山口市立川西中学校	2
	東広島市立向陽中学校	1		防府市立野島中学校	2
		個人応募		8	和木町立和木中学校
広島県合計		1,263	宇部市立常盤中学校	1	
山口県 (22校)	下関市立木屋川中学校	59	個人応募		20
	周南市立富田中学校	51	山口県合計		402
	阿東町立阿東中学校	50	中国5県合計(89校)		2,696
	山口大学教育学部附属山口中学校	33	全国応募作品総数		32,390
	県立高森みどり中学校	25			
	山口市立秋穂中学校	25			
	宇部フロンティア大学付属中学校	21			
	宇部市立藤山中学校	20			

平成19年度 海外視察等に関する支援・便宜供与実績

合計：10件
参加者数：74名

行事名<団体名>	訪問国	海外渡航期間	人数	支援・便宜供与内容
フィリピン・スタディーツアー <名古屋学院大学 外国学部国際文化協力学科>	フィリピン	8月19日～ 9月8日	15	JICA事務所訪問、TESDA女性センター訪問
ビン市障害者技術習得支援事業事前調査 <(財)岡山県身体障害者福祉連合会>	ベトナム	8月20日～ 8月26日	3	JICA事務所訪問
モンゴル火災予防意識啓発プロジェクトスタディーツアー <ひろしまアジア塾塾生グループコスモス>	モンゴル	9月11日～ 9月19日	5	JICA事務所訪問、日本センター訪問、シニア海外ボランティア職場訪問
チリカ湖環境保全と自然資源の持続的利用計画 <広島大学法学部>	インド	9月22日～ 10月1日	3	JICAプロジェクト現場視察、現場関係者との意見交換
教員養成及び教育職能形成状況の調査 <広島大学大学院 教育学研究科>	ブータン	12月8日～ 12月16日	1	JICA事務所訪問、協力隊活動現場視察
世界に翔けボランティア事業：高校生海外短期研修 <岡山県企画振興部国際課>	カンボジア	12月22日～ 12月28日	8	JICA事務所訪問、協力隊活動現場視察
岡山県・江西省訪問団派遣 <岡山県企画振興部国際課>	中華人民共和国	1月17日～ 1月22日	4	JICA事務所訪問
カンボジア・スタディーツアー <(財)ひろしま国際センター>	カンボジア	2月18日～ 2月25日	24	JICA事務所訪問、JICA関連事業視察
インドネシア・スタディーツアー <広島経済大学興動館>	インドネシア	3月6日～ 3月13日	4	青年海外協力隊活動現場視察
ボラボ・アイデアル小学校支援活動 <広島新庄高等学校>	バングラデシュ	3月17日～ 3月23日	7	JICA事務所訪問、協力隊員との交流

海外記者派遣実績

年度	派遣国	派遣期間	派遣記者	取材結果
平成14年度	エチオピア ジンバブエ ザンビア	平成14年9月15日～ 平成14年9月28日	中国新聞社 吉原 圭介 記者	「夢づくり 青年海外協力隊inアフリカ」(全6回) 中国新聞掲載
平成15年度	メキシコ パラグアイ	平成15年8月31日～ 平成15年9月5日	読売新聞社 鳥取支局 井口 馨 記者	「地球の裏側から」(全5回)読売新聞鳥取版掲載
平成16年度	ベトナム フィリピン	平成16年11月3日～ 平成16年11月11日	山口新聞社 伊藤 大輔 記者	「大海原を越えて 青年海外協力隊比越報告」(全5回) 山口新聞掲載
平成17年度	ケニア ウガンダ	平成18年1月30日～ 平成18年2月11日	山陰中央新報社 井上 誉文 記者	「1000キロの架け橋」(全6回)山陰中央新報掲載 平成18年3月11日 ビーストックマラソンin島根で帰国 報告
	マラウイ ザンビア	平成18年3月6日～ 平成18年3月17日	山陽新聞社 藤岡 慎吾 記者	「大地に汗を～アフリカ支援の今～」(全5回)山陽新聞 掲載 「手と手と手～岡山発 国際貢献～」山陽新聞(平成18 年1月1日から平成18年6月23日まで97回連載)に参考 情報として活用
平成18年度	カンボジア フィリピン	平成18年5月25日～ 平成18年6月3日	新日本海新聞社 坂 彩子 記者	「きずなは固く～青年海外協力隊の2女性～」(全4回) 日本海新聞掲載 「信本先生のカンボジアメール」日本海新聞連載中(平 成19年4月現在) ピース・トーク・マラソンin鳥取で取材報告
	タイ ベトナム	平成18年10月16日～ 平成18年10月24日	山口新聞社 森重 瑛美 記者	「山口から東南アジアへ～国際支援活動を追う～」(全 5回)山口新聞掲載 ピース・トーク・マラソンin山口で取材報告
平成19年度	ガーナ	平成19年7月30日～ 平成19年8月12日	毎日新聞社 山口支局 住田 里花 記者	「教師海外研修40年～先生たちのガーナ見聞録～」(全 3回)毎日新聞掲載
	ブルキナファ ソ タンザニア	平成19年11月26日～ 平成19年12月7日	山陰中央新報社 佐野 卓矢 記者	「灼熱の地を開く～アフリカ支援の山陰人～」(全5回) 山陰中央新報掲載

平成19年度 職業体験受入実績

学校名	受入日	受入生徒数
広島県立賀茂高等学校	8月1日(7名) 8月14日(4名)	11名
広島県立忠海高等学校	8月14日	2名

平成19年度 広島大学との連携協力実績

番号	事案名	期間・日時	概要
1	集団研修 「中等科学教育実技II」	研修受入期間 平成19年8月7日 ～9月30日	研修参加者(5名): 科学教育手法を有する教員を養成。全5年次の3年次目。 到達目標: 物理、化学などの実験技術の習得 低コスト理科実験機材の開発 方法の習得 日本の科学教育の学習指導の理解
2	地域別研修 「仏語圏アフリカ教育行政」	研修受入期間 平成19年6月5日 ～7月15日	研修参加者(10名): 初中等の学校長などに日本の教育全般を理解してもらう。 全5年次の5年次目。到達目標: 日本の初中等教育の包括的知識の育成 日 本の初中等教育の経験と実践の理解を深める 特定教育テーマの深化
3	国別研修 「南アフリカ理科数科教員 養成者研修」	研修受入期間 平成19年10月30 ～12月9日	研修参加者(10名): 南アの現職中等理科数科教員の指導法を改善。全5年次の2 年次目。到達目標: 日本と自国の教育の経験と現状を比較 理科数科分野の教 授法の質的改善 自国の現職教員研修計画の策定
4	地域別研修 「アジア地域・ノンフォー マル教育拡充」	研修受入期間 平成20年2月17日 ～3月16日	研修参加者(12名): UNESCOタイ事務所及び広島大学と連携し、タイと日本の 事例を学び、ノンフォーマル教育拡充のための戦略計画案を立案する。全3年次 の1年次目。主な到達目標: タイでのノンフォーマル教育における制度、行政 の役割を学ぶ 日本における生涯学習拠点の事例を通して、コミュニティー開 発などの視点からノンフォーマル教育のあり方について理解を深める
5	国別研修 「ケニアINSET運営管理」	研修受入期間 平成20年2月21日 ～3月26日	研修参加者(12名): 地区レベルにおける現職教員研修の運営管理を改善。全5 年次の5年次目。到達目標: 日本の教育概要の理解を深める 日本の現職教 員研修の運営管理方法を習得する 各研修員毎に、所属地区の現職教員研修の 改善行動計画をまとめる
6	国別研修 「インドネシア国際収支・ 国際経済マネジメント能 力強化」	研修受入期間 平成19年8月7日 ～8月25日	研修参加者(9名): 国際収支統計の知識を深め政策策定に反映。全3年次の3 年次目。到達目標: 国際収支統計の正確な把握・作成 国際収支統計の予測・ モニタリング能力向上
7	日系研修(個別長期) 「大気汚染、酸性雨、地 球温暖化の科学」	研修受入期間 平成18年7月15日 ～平成19年6月30日	研修参加者(1名): 大気汚染、酸性雨、地球温暖化などの地球規模の大気環境 問題の理解を深め、問題解決の手法を学んでいる。
8	日系研修(個別長期)「口 腔保健学」	研修受入期間 平成18年5月8日 ～平成19年4月21日	研修参加者(1名): 口腔保健に関し、三次元デジタイジングと画像処理の技術、 それを利用したコホート型の研究、その他基本的技巧操作等について学んでいる。
9	日系研修(個別短期)「裸 地・林地の放射収集・熱 収集と仮導管レベルの年 輪解析」	研修受入期間 平成19年4月20日 ～7月11日	研修参加者(1名): 農業・森林管理に必要な気象観測の詳細を訓練し、微気象 パラメーターの計算、その解釈を理解する。スギ樹幹横断面の仮導管配列数を調 査し、降水量の経年変化と配列数・早晚材率の関係を調べる。
10	国別研修 「バングラデシュ初等理 数科教育」	研修受入期間 平成20年2月4日 ～2月14日	研修参加者(2名): 広島大学とコンサルタント会社パデコが共同企業体を組み 実施している技術協力プロジェクト「バングラデシュ小学校理数科教育強化プロ ジェクト」の研修員受入。
11	ケニア長期研修員 「中等理科数科教育」	研修受入期間 平成17年9月26日 ～平成20年4月3日	研修参加者(1名): ケニアでJICAが実施している「中等理科数科教育強化計画 プロジェクト(フェーズ2)」に関わっているカウンターパート(C/P)を受け入れ ているもので、研修を通じて授業改善に向けた指導能力向上の方法やカリキュラ ム・シラバスの開発に関する計画立案能力向上の方法等を学んでいる。
12	ベトナム長期研修員 「環境管理技術能力向上」	研修受入期間 平成18年9月3日 ～平成20年10月3日	研修参加者(1名): ベトナムでJICAが実施している「水環境技術能力向上プロジェ クト」に関わっているカウンターパート(C/P)を受け入れているもので、水環 境問題を環境管理の視点から研究し、その成果をプロジェクト活動(環境エンジ ニアリング部門の水環境技術能力向上)に応用し、ベトナムにおける適用可能な 技術に反映させる。
13	大学受入JICA研修の改善	通年	JICA研修実施委託に関し、以下の改善を行う。 研修終了後の業務完了報告書 研修料の支払い・精算に係る改善
14	JICA中国宿泊に係る一般特別料金適 用による広島大学客員研 究員等の宿泊促進	通年	JICA中国宿泊に係る一般特別料金(朝食込み、税込み¥4,541/泊)の適用対象 として、「JICAが大学と締結する連携協力協定(覚書を含む)」に規定する施設の 相互利用に基づき宿泊する者」と定まったところ、広島大学客員研究員等による 宿泊施設利用の促進を図る。 なお、本協定に基づく一般特別料金宿泊の平成19年度実績は、計301人泊。
15	IDEC-JOCV連携プログ ラム(ザンビア国理科数 科教師グループ派遣)	平成14年4月～	IDECの学生をJICA青年海外協力隊員として派遣するプログラム。平成19年度は、 8月にIDEC教員をザンビアに派遣し、現地研究会を開催。11月には連絡協議会 を開催し、IDEC教員のザンビア派遣報告及びこれまでの成果確認を実施。

海外ボランティアによる「原爆展」開催実績

「原爆展」は、広島県出身の青年海外協力隊員達の自主的な活動により、2004年中米のニカラグアにて開催され好評を得たのを機に、これまでアフリカや中南米など40カ国を超える国々で開催されています。広島市国際協力推進員が窓口となり、広島市平和祈念資料館からの原爆資料貸出など行っています。

1. 平成19年度原爆展等の実施実績

国名	実施時期	実施内容
モルディブ	平成19年4月～7月	2つの島で原爆展を開催。
パラグアイ	平成19年4月～11月	青年海外協力隊員の配属先学校などで原爆展を開催、3日間で約800名来場。その後、10箇所で開催を実施。
アルゼンチン	平成19年5月～6月	ブエノスアイレス近郊の日本語学校など7箇所にて原爆展を実施、来場者 180名。
ポーランド	平成19年5月～9月	
モンゴル	平成19年5月～11月	「ヒロシマ原爆セミナー」を開催。小～高校生、先生 約100名を対象。
パナマ	平成19年6月～9月	青年海外協力隊員の配属先である大学・高校、計3ヶ所で原爆展を開催。
マラウイ	平成19年7月21日	学校を会場に原爆展を開催。約150名が来場。
ホンジュラス	平成19年7月～8月	3都市で原爆展を開催、7日間に1,300名以上が来場。
グアテマラ	平成19年8月	国内5ヶ所で「原爆展・環境展」を開催。
モザンビーク	平成19年8月	「原爆についての説明会」を開催。
ベルー	平成19年8月	原爆展示会を開催。
タンザニア	平成19年8月	ダルエスサラーム国立博物館にて2日間原爆展を開催。210名来場。
スリランカ	平成19年8月～11月	国内7箇所で開催。
コスタリカ	平成19年9月	コスタリカ大学リモン校にて原爆展を実施。
トンガ	平成19年11月	「Peace Day」に原爆展をエウア高校で開催。
バングラデシュ	平成19年11月	小学校の教員養成所にて原爆展を開催。
ドミニカ共和国	平成19年11月	サルセド県「国際文化フェスティバル」にて「原爆展」を実施。
パキスタン	平成19年11月	青年海外協力隊員の配属先の養護学校の生徒とその保護者を対象に開催。
ザンビア	平成19年12月	歴史学習、平和学習の教材として、原爆ポスターを展示。
モルディブ	平成19年12月	日本モルディブ祭りで「原爆展」を開催。
メキシコ	平成19年	
ベリーズ	平成19年	
ボリビア	平成19年12月～平成20年1月	
カンボジア	平成20年1月	
ジンバブエ	平成20年2月	

2. 「原爆展」開催国数

年度	開催国数
平成16年度	1
平成17年度	9
平成18年度	16
平成19年度	25

2. 参考資料

主な関係団体（中国5県）

（1）国際協力関連業務主管部課

県・市名	国際協力一般 (含む青年海外協力隊)	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	文化観光局交流推進課	680-8570	鳥取市東町1-220	0857-26-7079
島根県	環境生活部文化国際課	690-8501	松江市殿町1	0852-22-6462
岡山県	企画振興部国際課	700-8570	岡山市内山下2-4-6	086-226-7284
広島県	総務部秘書広報局国際課	730-8511	広島市中区基町10-52	082-513-2359
山口県	地域振興部国際課	753-8501	山口市滝町1-1	083-933-2340
広島市	市民局国際平和推進部	730-8586	広島市中区国泰寺町1-6-34	082-504-2106

（2）主な協力団体

県・市名	団体名	郵便番号	所在地	電話番号
鳥取県	財団法人 鳥取県国際交流財団	680-0947	鳥取市湖山町西4-110-5鳥取空港国際会館1階	0857-31-5951
島根県	財団法人 しまね国際センター	690-0887	松江市殿町8-3 島根県市町村振興センター3階	0852-31-5056
岡山県	財団法人 岡山県国際交流協会	700-0026	岡山市奉還町2-2-1 岡山国際交流センター内	086-256-2917
広島県	財団法人 ひろしま国際センター	730-0037	広島市中区中町8-18 広島クリスタルプラザ6階	082-541-3777
山口県	財団法人 山口県国際交流協会	753-0811	山口市吉敷下東4-17-1	083-925-7353
広島市	財団法人 広島平和文化センター	730-0811	広島市中区中島町1-5広島国際会議場内	082-242-8879

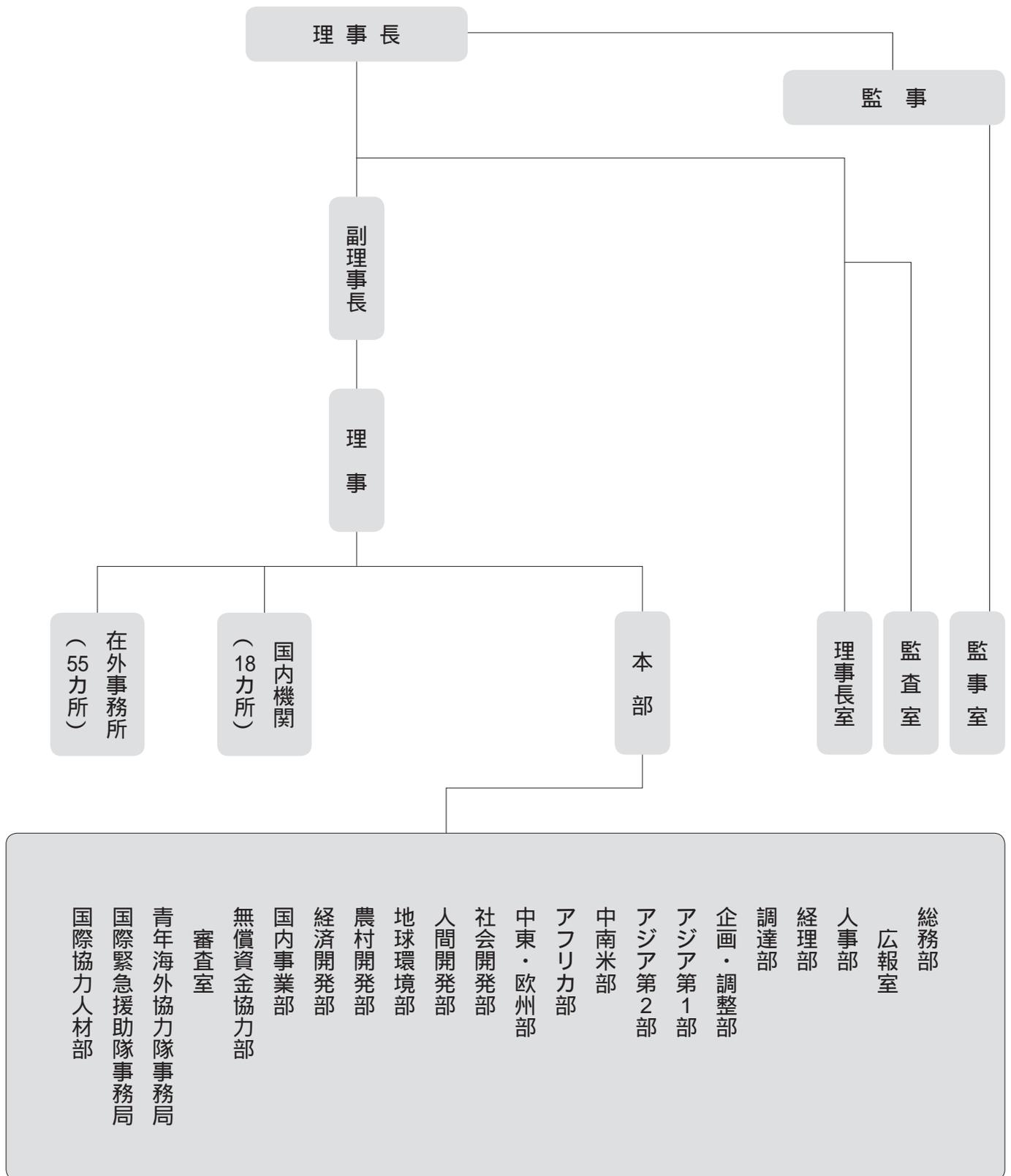
（3）青年海外協力隊OB会・育てる会

団体名	代表者名・役職	
青年海外協力隊鳥取県OV会	谷田 孝之	会長
島根県青年海外協力協会	寺本 裕二	会長
青年海外協力隊岡山県OV会	万代 ユミ	会長
青年海外協力隊広島県OB会	久田 光孝	会長代行
青年海外協力隊山口県OB会	三村 和義	会長
広島県協力隊を育てる会	上田 みどり	会長
山口県協力隊を育てる会	岩本 功	会長

（4）JICA専門家連絡会

団体名	代表者名・役職	
鳥取県JICA派遣専門家連絡会	藤山 英保（鳥取大学農学部教授）	会長
島根県JICA派遣専門家連絡会	増永 二之（島根大学准教授） <small>つぎゆき</small>	会長代行
岡山県JICA派遣専門家連絡会	小西 国義	会長
広島県JICA派遣専門家連絡会	阪田 泰和（広島大学医学部留学生相談室）	臨時会長
山口県JICA派遣専門家連絡会	西山 壯一（山口大学農学部教授）	会長

国際協力機構の組織図 (平成20年3月31日現在)



JICA中国の沿革

1. 事業の沿革

昭和29年から管轄地域内各県で実施されていた海外移住業務を、昭和39年7月に設置された国際協力事業団（JICA：Japan International Cooperation Agency）の前身である海外移住事業団広島県事務所が各県海外協会から継承しました。昭和40年から各県の協力を得て実施されていた青年海外協力隊業務は、国際協力事業団広島支部が設置された昭和49年8月から扱うこととなり、研修員の受入れ業務は、昭和56年から実施しています。

2. 組織の変遷

< 国際協力事業団設立以前 >

昭和29年1月 財団法人日本海外協会連合会が東京に設立。

3月 広島県及び鳥取県に海外協会が設立。その後、4月に岡山県、10月に山口県、11月に島根県と設立。

昭和37年6月 海外技術協力事業団（OTCA）設立。政府の技術協力事業を一元化。

昭和38年7月 海外移住事業団（JEMIS）設立。財団法人日本海外協力連合会の業務を継承。

昭和39年7月 JEMIS、都道府県に地方事務所開設。

昭和48年10月 JEMIS広島支部が設立。広島県、山口県及び島根県を管轄。岡山県及び鳥取県は、神戸支部が管轄。山口県には更に駐在員事務所を配置。

< 国際協力事業団 >

昭和49年8月 国際協力事業団（JICA）設立。JEMIS広島支部は、JICA広島支部となる。

昭和53年9月 山口駐在員事務所が廃止。

昭和54年7月 JICA広島支部の担当地域に鳥取県及び岡山県が加わり、管轄が中国5県となる。

昭和55年4月 名称変更により広島支部は中国支部となる。

平成8年10月 中国支部を廃止し、中国国際センターを設立。

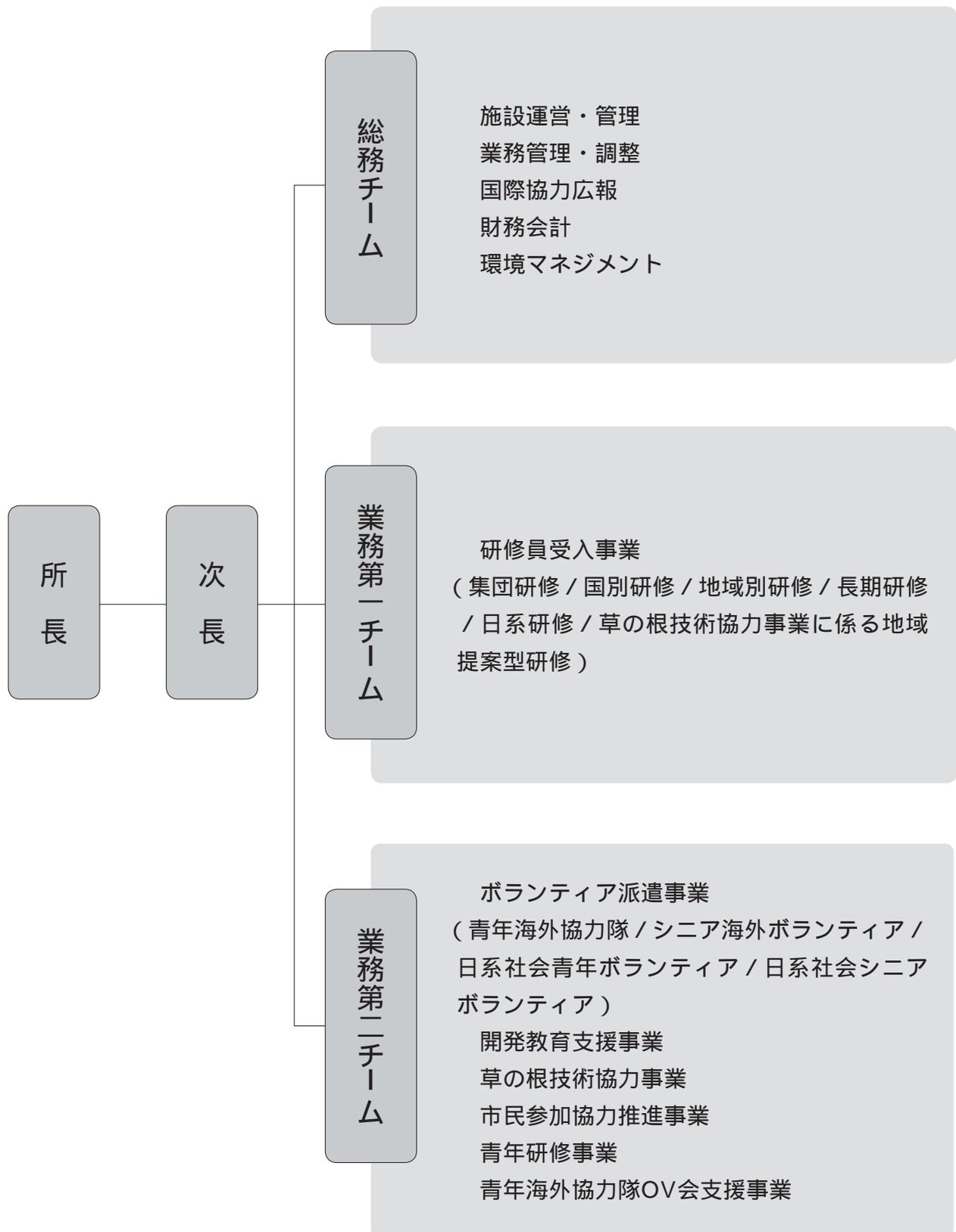
平成9年1月 東広島市鏡山の広島中央サイエンスパーク内に、JICAと広島県との共同施設「ひろしま国際プラザ」が完成。

2月 中国国際センターを、「ひろしま国際プラザ」に移転。

< 国際協力機構 >

平成15年10月 JICAは、独立行政法人化して「独立行政法人 国際協力機構」（英文名称は「JICA」のまま）となる。

JICA中国の組織図・業務内容（平成20年3月31日現在）





独立行政法人 国際協力機構 中国国際センターへの交通アクセス

- JR西条駅から
 - ・JRバス 黒瀬・広・呉方面行(7番のりば)
水源地前(すいげんちまえ)下車 徒歩15分
 - ・JRバス サイエンスパーク行(7番のりば)
フォード前下車 徒歩5分
 - ・タクシー 15分
 - ・シャトルバス 西条駅前(6番のりば) 15分
- JR東広島駅から
 - ・タクシー 10分
- 広島空港から
 - ・バス(呉市交通局)呉駅行 水源地前(すいげんちまえ)下車 徒歩15分
 - ・芸陽バス 白市駅方面行 終点JR白市駅下車 (JRに換乗)
 - 山陽本線広島方面行 JR西条駅下車(JR西条駅からは、上記を参照)
 - ・タクシー 30分
- 山陽自動車道 西条ICから
 - ・自動車 国道375号線を呉方面へ 15分

■シャトルバス運行表

【JR西条駅→ひろしま国際プラザ】

ひろしま国際プラザ	広島大学	リハビリテーションセンター	西条駅	備考
8:30	8:35	→	8:50	土日祝運休
9:44	→	→	9:58	※
10:16	→	10:25	10:46	※
11:06	→	11:15	11:38	※土日祝運休
13:09	→	→	13:25	※
16:20	→	→	16:35	※
17:45	→	→	18:00	土日祝運休
17:45	→	→	17:55	土日祝のみ運行
18:40	→	→	18:55	土日祝運休
19:10	→	→	19:25	土日祝のみ運行

【ひろしま国際プラザ→JR西条駅】

西条駅	リハビリテーションセンター	広島大学	ひろしま国際プラザ	備考
8:58	→	→	9:13	土日祝運休
10:00	→	→	10:16	※
10:50	→	→	11:06	※
13:35	→	→	13:51	※
15:50	16:08	→	16:20	※
18:05	→	18:20	18:25	土日祝運休
18:00	→	→	18:15	土日祝のみ運行
18:55	→	→	19:10	土日祝運休
19:30	→	→	19:45	土日祝のみ運行

※印のバスはリハビリテーションセンターが運営しているバスです。
乗車・降車の利用については、リハビリテーションセンター利用者が優先となります。



独立行政法人 国際協力機構 中国国際センター

〒739-0046 広島県東広島市鏡山3-3-1ひろしま国際プラザ内

TEL(082)421-6300 FAX(082)420-8082

<http://www.jica.go.jp/chugoku/>